

**Panasonic<sup>®</sup>**

**操作説明書**  
**業務用 Wi-Fi 基地局**  
Wireless LAN Access Point

---

**Wi-Fi 基地局一括設定ツール**

V1.01

操作説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。

# はじめに

---

本説明書では、Wi-Fi 基地局一括設定ツールに関する操作方法を説明いたします。

Wi-Fi 基地局一括設定ツール操作説明書（以下、本書という）は、業務用 Wi-Fi 基地局（以下、本装置という）を利用される方が、正しく、安全に運用保守を行えることを目的として記載しています。

本設定ツールを取り扱う前に本書をよく読み、記載されている指示や注意を十分に理解してください。

## 商標について

- ・Wi-Fi およびロゴマークは、Wi-Fi Alliance の商標または登録商標です。
- ・イーサネット/ Ethernet は、富士ゼロックス株式会社の登録商標です。
- ・Microsoft とそのロゴ、Windows とそのロゴは米国 Microsoft Corporation の米国およびその国における登録商標です。
- ・その他、本文中に記載の各会社名、各製品名は各社の商標または登録商標です。

## お知らせ

- ・Microsoft Corporation のガイドラインにしたがって画面写真を使用しています。
- ・本書の内容については、改良のため、予告なく変更する場合があります。
- ・以下用語の説明です。

| No | 用語      | 説明   | 備考 |
|----|---------|--|----|
| 1. | 本ツール    | Wi-Fi 基地局一括設定ツール                                       |    |
| 2. | 一括設定ツール | Wi-Fi 基地局一括設定ツール                                       |    |
| 3. | AP      | アクセスポイント   |    |
| 4. | 転送      | アクセスポイントへのアップロード (FTP put)                             |    |
| 5. | 取得      | アクセスポイントからダウンロード (FTP get)                             |    |
| 6. | 読込      | AP 情報の CSV を Wi-Fi 基地局一括設定ツールに読み込みます                   |    |
| 7. | 保存      | Wi-Fi 基地局一括設定ツールで読み込み中 (一覧表示中) の AP 情報を CSV ファイルに保存します |    |

## ご使用にあたっての注意

パナソニック システムネットワークス株式会社は、それぞれ本書に記述されている製品および技術に関する知的財産権に関する法律および国際条件により保護されています。

本書およびそれに付随する製品および技術は、その使用、複製、頒布および逆コンパイルを制限するライセンスのもとにおいて頒布されます。パナソニック システムネットワークス株式会社およびそのライセンサーの書面による事前の許可なく、このような製品または技術および本書のいかなる部分も、いかなる方法によっても複製することが禁じられます。本書の提供は、明示的であるか黙示的であるかを問わず、本装置またはそれに付随する技術に関するいかなる権利またはライセンスを付与するものでもありません。本書は、パナソニック システムネットワークス株式会社の一部、あるいは関連会社のいかなる種類の義務を含むものでも示すものでもありません。本書および本書に記述されている製品および技術には、ソフトウェアおよびフォント技術を含む第三者の知的財産が含まれている場合があります。これらの知的財産は、著作権法により保護されているか、または提供者からパナソニック システムネットワークス株式会社へライセンスが付与されているか、あるいはその両方です。

---

## 本ツールについて

本ツールについては、当社 HP で最新版への更新要否を確認し、必要に応じて更新をしてください。

URL <http://panasonic.biz/netsys/wifi/>

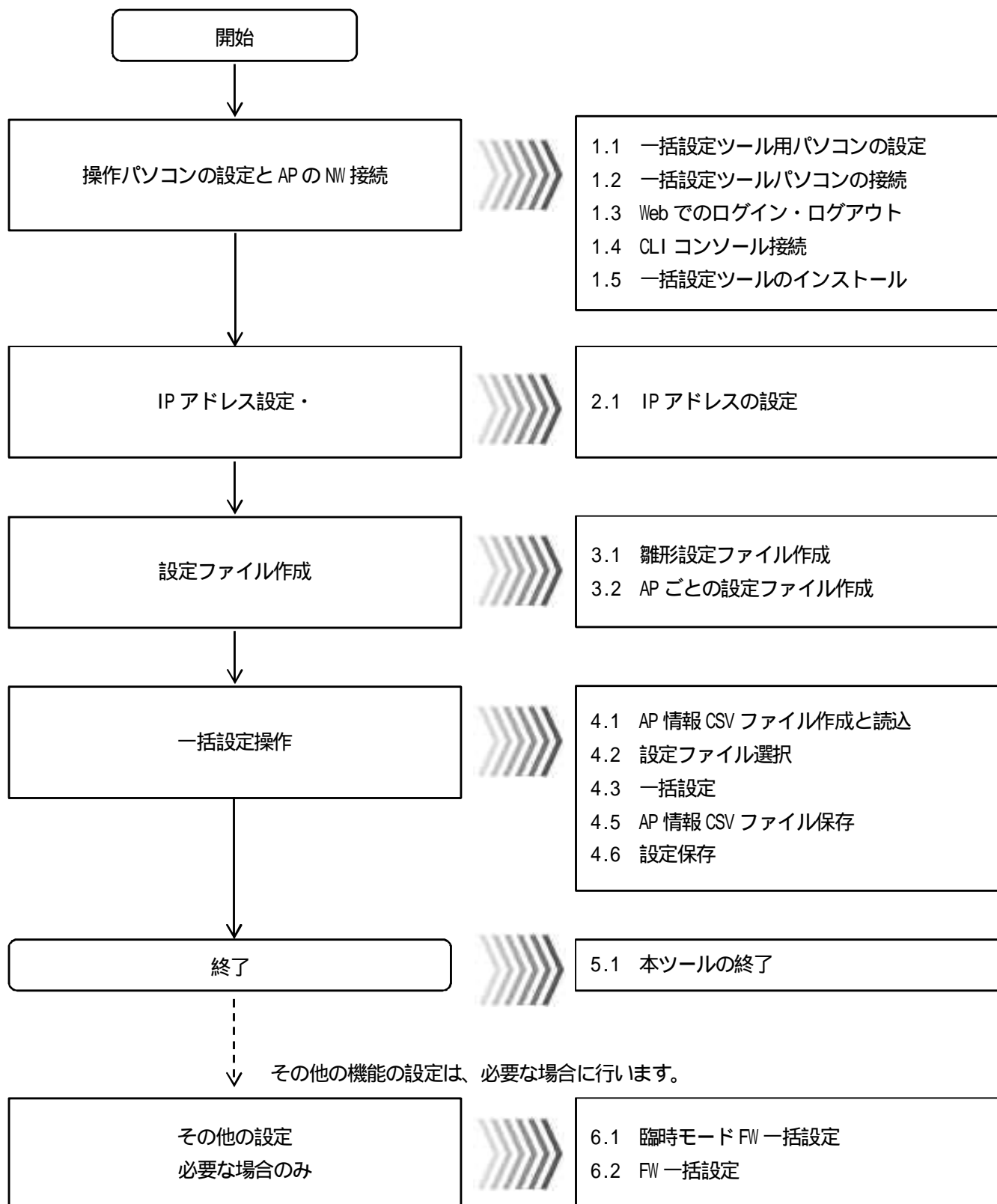
## 免責事項

本書または本書に記述されている製品や技術に関してパナソニック システムネットワークス株式会社または関連会社が行う保証は、製品または技術の提供に適用されるライセンス契約で明示的に規定されている保障に限ります。このような契約で明示的に規定された保障を除き、パナソニック システムネットワークス株式会社および関連会社は、製品、技術、または本書に関して、明示、黙示を問わず、いかなる種類の保障も行いません。これらの製品、技術、または本書は、現状のまま提供され、商品性、特定目的への適合性または第三者の権利の非侵害の黙示の保障を含みそれに限定されない、明示的であるか黙示的であるかを問わない、なんらの保障も、かかる免責が法的に無効とされた場合を除き、行われぬものとします。このような契約で明示的に規定されていない限り、パナソニック システムネットワークス株式会社または関連会社は、いかなる法理論のもとの第三者に対しても、その収益の損失、有用性またはデータに関する損失、あるいは業務の中断について、あるいは間接的損害、特別損害、付随的損害、または結果的損害について、そのような損害の可能性が示唆されていた場合であっても、適用される法律が許容する範囲内で、いかなる責任も負いません。

- ・本装置の故障、誤動作、不具合、あるいは停電時の外部要因によって通話、録音等の機会を逸したために生じた損害等の純粋経済損害につきましては、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- ・地震、雷、風水害などの天災、火災、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意、過失および誤用、その他異常な条件下での使用により生じた損害、および本装置の使用または使用不能から生じる付随的な損害について、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- ・本装置は、医療機器、生命維持装置、航空交通管制機器、その他人命に関わる機器・装置・システムでの使用を意図しておりません。本装置をこれらの機器・装置・システムなどに使用され生じた損害について、当社は責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

# 基本的な本ツール操作手順

本ツールの基本的な設定は以下の手順で行います。



# 1.1 一括設定ツール用パソコンの設定

---

本ツールを利用する際に使用するパソコンの接続方法と設定について説明します。

また、雛形設定ファイルを作成する際に使用する Web コンソール用パソコンの設定について説明します。

両操作を、1 台で共有使用することができます。

表1. 1-1 一括設定ツール/Web コンソール用パソコンの推奨環境

|                          |  |
|--------------------------|--|
| OS および TCP/IP ソフトウェア     | Microsoft® Windows® 7<br>Microsoft® Windows® 8.1<br>Microsoft® Windows® 10 ( 本ツール利用のみ可能 )<br>TCP/IP ソフトウェアは OS に付属しています。別途ご用意いただく必要はありません。 |
| .NetFramework ( 本ツール必須 ) | 4.5  |
| 画面解像度                    | 1024 x 768 ピクセル以上  |
| LAN カード                  | 本装置とパソコンを接続するために、パソコンに Ethernet ポートが必要です。LAN カードを使用する場合は、ご使用になるパソコンに装着できる LAN カードをご用意ください。   |
| WWW ブラウザ                 | 本装置の設定に Web コンソールを使用する際には、以下の WWW ブラウザをご用意ください。<br>・Windows® Internet Explorer 11®以上<br><br>複数ブラウザから同一 AP へのアクセスには対応しておりません。               |

## LAN カードの準備

本ツール用パソコンに Ethernet ポートがあることを確認します。

Ethernet ポートがないパソコンの場合は、LAN カードを挿入する必要があります。LAN カードを新規に装着した場合には、LAN カードのソフトウェア ( ネットワークドライバ ) のインストールが必要になります。パソコンや LAN カードに添付された取扱説明書にしたがって正しく設定してください。

## TCP/IP プロトコルの設定

本ツールを使用するには、本ツール用パソコンで IP アドレスおよびサブネットマスクの設定を済ませておくことが必要です。設定の手順はパソコンの OS によって異なります。

本書では、Microsoft® Windows® 8.1 を例に説明します。

- 手順1 [コントロールパネル] ウィンドウを開き、[ネットワークと共有センター] をクリックします。
- 手順2 [アダプタの設定の変更] をクリックします。ネットワーク接続が表示されます。
- 手順3 [イーサネット] を右クリックし、表示されたリストから [プロパティ] を選択します。  
[イーサネットのプロパティ] ダイアログボックスが表示されます。
- 手順4 一覧にインターネットプロトコルバージョン 4 (TCP/IPv4) が含まれていることを確認します。  
一覧にインターネットプロトコルバージョン 4 (TCP/IPv4) が表示されていない場合は、TCP/IP のインストールが必要です。Microsoft® Windows® 8.1 の取扱説明書を参照して、インストールを行ってください。

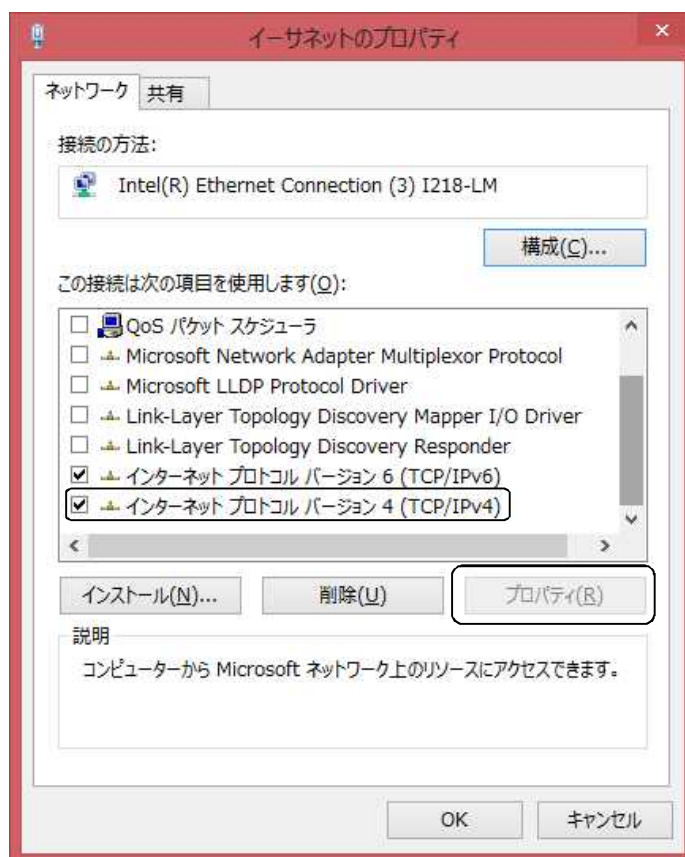


図1.1-1 イーサネットのプロパティ

**手順5** 一覧から〔インターネットプロトコルバージョン 4 (TCP/IPv4)〕をクリックして選択し、〔プロパティ〕ボタンをクリックします。  
〔インターネットプロトコルバージョン 4 (TCP/IPv4) のプロパティ〕ダイアログボックスが表示されます。

**手順6** パソコンの IP アドレスを設定します。設定する IP アドレスとサブネットマスクは、本装置に設定されている IP アドレスとサブネットマスクと整合性をとるように設定してください。  
本装置の IP アドレスの初期値は、表 1.1-2 に記載します。

表1.1-2 IP アドレス (初期値)

|             |               |
|-------------|---------------|
| IP アドレス     | 192.168.0.3   |
| サブネットマスク    | 255.255.255.0 |
| デフォルトゲートウェイ | -             |

例として、下記の内容で設定します。

- ・〔次の IP アドレスを使う〕を選択
- ・IP アドレスに「192.168.0.253」を入力
- ・サブネットマスクに「255.255.255.0」を入力
- ・デフォルトゲートウェイは入力なし

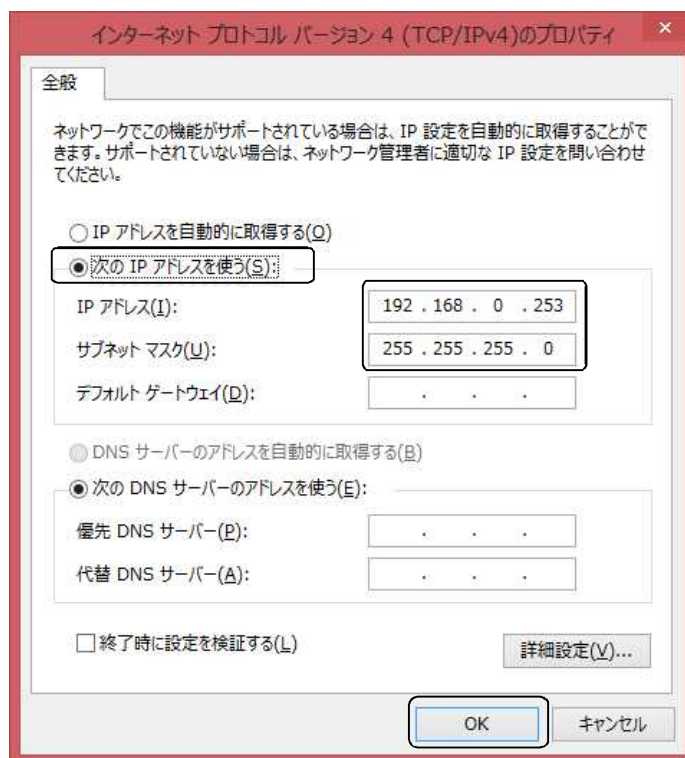


図1.1-2 インターネットプロトコルバージョン 4 (TCP/IPv4) のプロパティ

- 手順7**   〔OK〕 ボタンをクリックして、〔インターネットプロトコルバージョン 4 (TCP/IPv4) のプロパティ〕を閉じます。
- 手順8**   〔イーサネットのプロパティ〕の〔OK〕 ボタンをクリックして、プロパティを閉じます。
- 手順9**   〔ネットワーク接続〕の右上〔閉じる〕 ボタンをクリックして、設定を終了します。



---

## WWW ブラウザの準備

設定の手順はパソコンの OS によって異なります。本書では、Microsoft® Windows® 8.1 を例に説明します。ブラウザは、1 台の AP に Web ログインして雛形設定ファイル作成時に、活用します。

- 手順1**   〔コントロールパネル〕ウインドウを開き、〔インターネットオプション〕をクリックします。  
〔インターネットのプロパティ〕ダイアログボックスが表示されます。
- 手順2**   〔接続〕タブを選択し、〔LAN の設定〕ボタンをクリックします。  
〔ローカルエリアネットワーク (LAN) の設定〕ダイアログボックスが表示されます。
- 手順3**   〔LAN にプロキシサーバーを使用する〕がチェックされていないことを確認します。

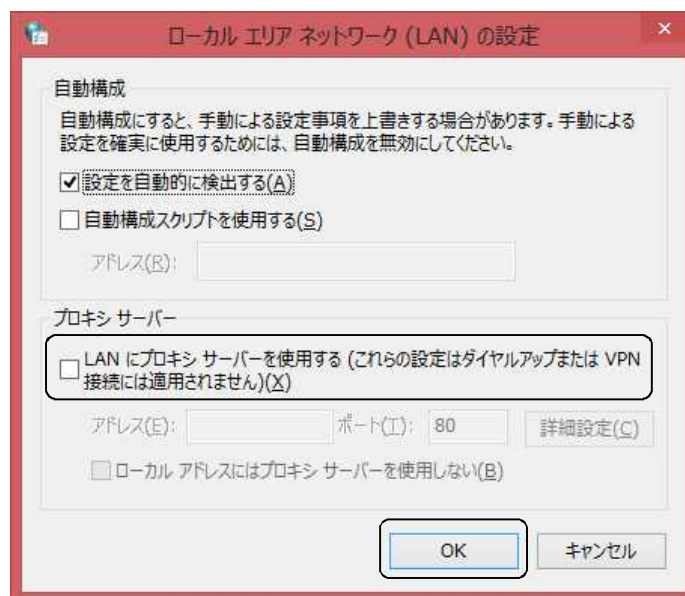


図1.1-3 ローカルエリアネットワークの設定 (LAN)

プロキシサーバーを利用する場合は、手順 4～手順 6 を実施し、本装置だけプロキシの対象外として設定します。

- 手順4**   〔LAN にプロキシサーバーを使用する〕をチェックし、〔詳細設定〕ボタンをクリックします。  
プロキシの設定ダイアログボックスが表示されます。
- 手順5**   例外の〔次で始まるアドレスにはプロキシを使用しない〕に本装置の IP アドレスを指定します。
- 手順6**   〔OK〕ボタンをクリックして、プロキシの設定を閉じます。
- 手順7**   〔ローカルエリアネットワーク (LAN) の設定〕の〔OK〕ボタンをクリックして閉じます。
- 手順8**   〔インターネットのプロパティ〕の〔OK〕ボタンをクリックして閉じます。

## 1.2 一括設定ツールパソコンと AP の接続

### 一括設定ツール/Web コンソール用パソコンと AP の接続方法

AP と本ツール用パソコンを接続するには、Ethernet ケーブルで本装置の Ethernet 端子 (ETH) とコンソール用パソコンの Ethernet 端子を、スイッチングハブを介して接続し、同じネットワーク上で通信できるようにします。

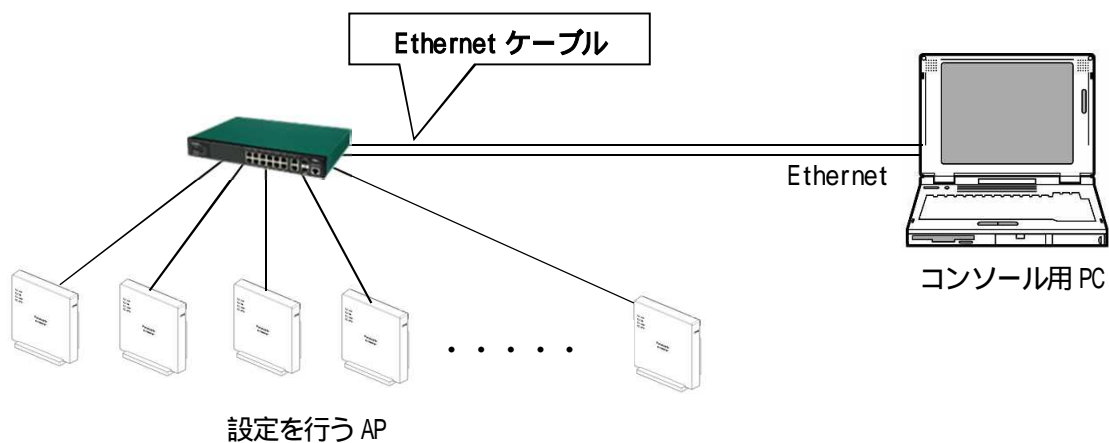


図1.2-1 接続図

### 重要

一括設定ツールを利用する際には、各 AP に個別の IP アドレスを設定しておく必要があります。

個別に設定する際には、工場出荷時の IP アドレスが全て同じため、スイッチングハブに 1 台ずつ接続して設定を行ってください。

ZEQUOassistPlus を利用して設定する場合は、全て工場出荷時の状態のまま設定を行うことができます。設定方法については、ZEQUOassistPlus の取扱説明書を参照してください。

一括設定ツールでは、同時に 1000 台までの AP に一括設定操作を行えます。

## 1.3 Web でのログイン・ログアウト

---

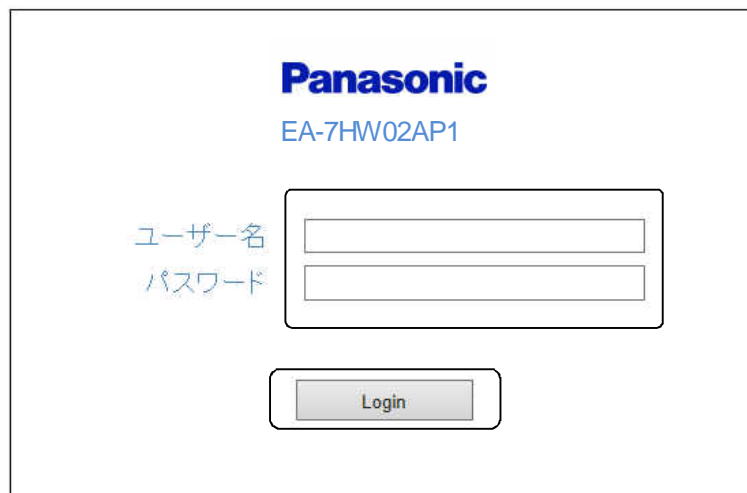
### Web コンソールで利用時の AP へのログイン

WWW ブラウザに AP の IP アドレス (工場出荷初期値 IP アドレス : 192.168.0.3) を入力すると、ログイン画面 (図 1.4-1) が表示されます。

ユーザー名とパスワード (工場出荷初期値 ユーザー名 : root / パスワード : root) を入力してください。

ログインしたままパソコンを放置すると、意図しないで設定等が変更される可能性があります。操作をしない場合は、速やかにログアウト等をし、設定等の破壊、改ざんまたは消去からの対策をとってください。

なお、一定時間操作しないと、自動的にログアウトされます。



The image shows a web login interface. At the top, the Panasonic logo is displayed in blue, followed by the model number EA-7HW02AP1 in a smaller blue font. Below the model number, there are two input fields. The first field is labeled 'ユーザー名' (Username) and the second is labeled 'パスワード' (Password). Below these fields is a button labeled 'Login'.

図1.3-1 ログイン画面

詳細は、EA-7HW02AP1 の取扱説明書(設定編)の「2.3 Web でのログイン・ログアウト」を参照してください。

## 1.4 CLI コンソール接続

本装置の各種設定を行う方法には、Web コンソールのほかに CLI コンソール (コマンドライン・インターフェイス・コンソール) があります。ここでは、CLI コンソールの準備、ログイン・ログアウト方法について説明します。設定の手順はパソコンの OS によって異なります。

### コンソールの接続方法

コンソールとは、通信ソフトがインストールされているパソコンなどを指します。本装置とコンソールを接続するには、Ethernet ケーブルで接続し、ネットワーク経由で Telnet によりリモートログインします。

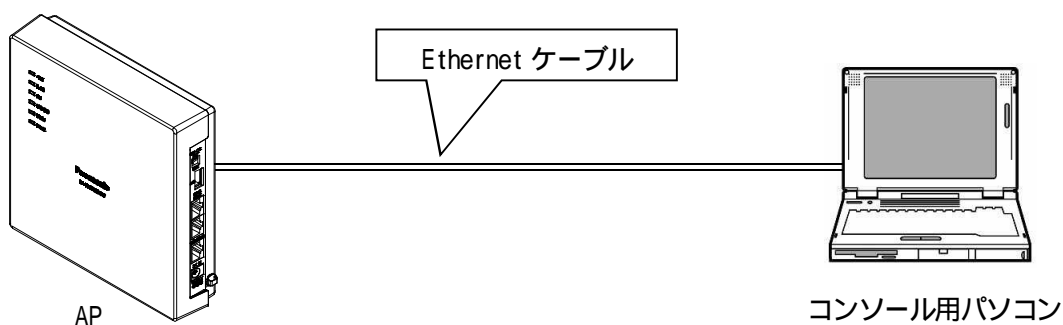


図1.4-1 コンソール接続例 (Telnet)

### 重要

「Telnet」を利用するには、Windows での有効設定が必要になります。Windows で「Telnet」を利用するには、Windows のファイアウォール設定を無効化する必要があります。無効状態で放置すると、外部から攻撃を受ける可能性が高くなります。CLI アクセス完了後は、直ちにファイアウォール設定を元の状態に戻してください。

詳細は、EA-7HW02AP1 の取扱説明書(設定編)の「2.6 CLI コンソールの接続」を参照してください。

## 1.5 一括設定ツールのインストール

---

一括設定ツールに、インストーラーはありません。

取得した“一括設定ツール一式”ファイル内にある以下のファイル・フォルダを、操作パソコン上で作成した同じフォルダ内においてください。

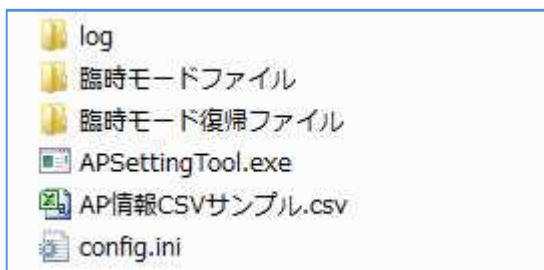


図1.5-1 フォルダ・ファイル一覧

- ・ “ log ” フォルダ  
一括設定ツールで行った操作・状態結果のログファイルが保存されます。  
一括設定ツールを起動・使用後に、自動的に作成されます。
  - ・ “ 臨時モードファイル ” フォルダ  
AP を臨時モードに一括変更させる設定ファイルを保存しておきます。
  - ・ “ 臨時モード復帰ファイル ” フォルダ  
AP を臨時モードから一括復帰させる設定ファイルを保存しておきます。
  - ・ APSettingTool.exe  
本ツールの実行ファイルです。
  - ・ AP 情報 CSV サンプル.csv  
各 AP に設定流し込みを行う際に、各 AP を本ツール内で認識するために読み込ませる AP 情報のファイルです。  
本サンプルファイルのフォーマットを利用して、お客様ごとの AP 情報ファイルを作成します。
- 一括設定ツールは、実行ファイル“APSettingTool.exe”をダブルクリックして、起動します。

以下に画面レイアウトをしめします。

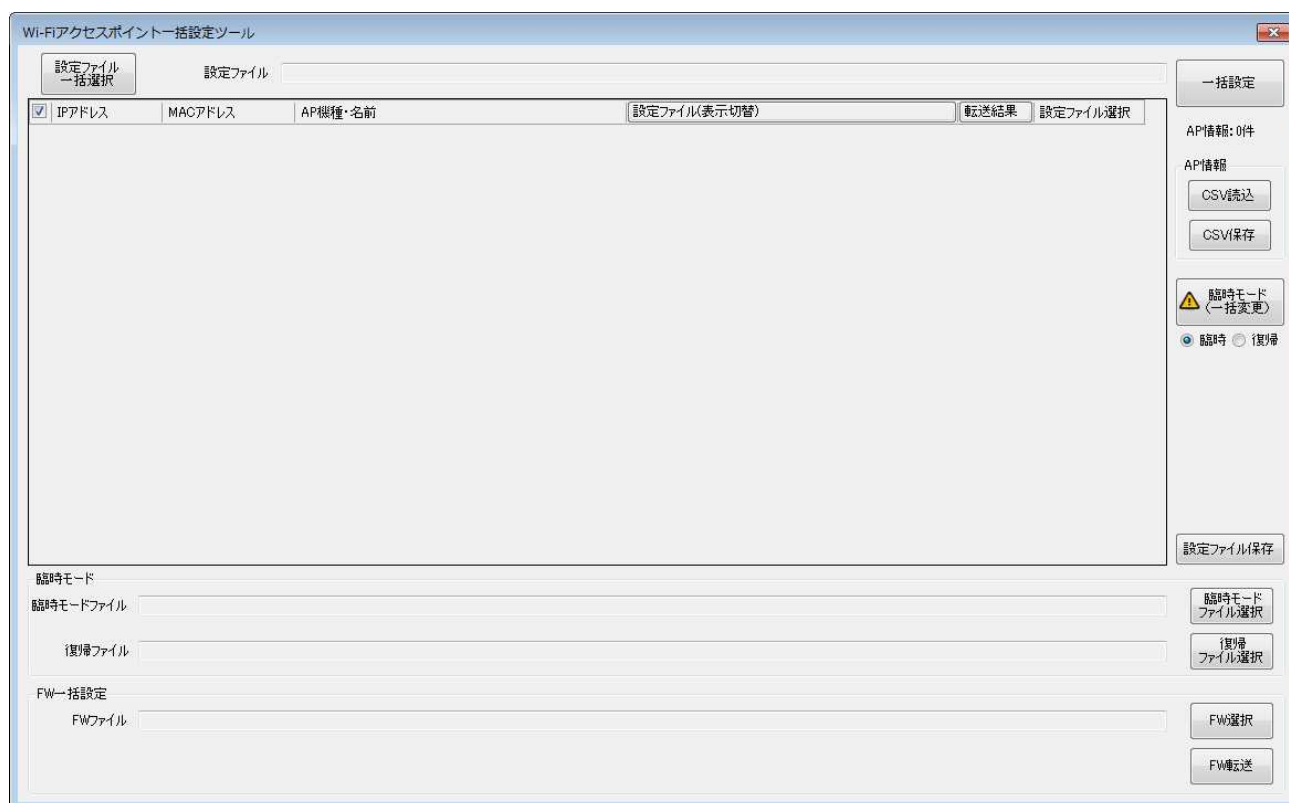


図1.5-2 画面レイアウト

以下、画面・操作内容の説明をいたします。

|              | 概要   |
|--------------|--|
| 設定ファイル一括選択   | AP 情報一覧の「設定ファイル」欄に一括して設定ファイルを設定します   |
| 設定ファイル表示     | 一覧表示中のフォーカスが当たっている AP の「設定ファイル」のファイルパスを表示します   |
| 終了           | 一覧表示中の AP 情報が破棄される旨のダイアログを表示し、本ツールを終了します   |
| 一括設定         | 一覧表示中のチェックの付いた AP に対し、選択されている「設定ファイル」の転送 (FTP) を実行します  |
| AP 情報件数表示    | 一覧表示中の AP 情報件数が表示されます  |
| CSV 読込       | AP 情報が記載された CSV ファイルを読み込み一覧に表示します  |
| CSV 保存       | 一覧表示中の AP 情報を CSV ファイルに保存します   |
| 臨時モード (一括変更) | 臨時モード用/臨時モード復帰用設定ファイルを一覧表示中のチェックの付いた AP に転送 (FTP) します  |
| 臨時/復帰        | 臨時モード (一括変更) ボタンで転送するファイルを選択します  |
| 設定ファイル保存     | 一覧表示中のチェックの付いた AP に対し、設定ファイルを取得 (FTP) しファイルに保存します  |
| AP 情報一覧表示    | 「AP 情報 CSV 読込」により読み込んだ AP 情報を一覧表示します<br>「設定ファイル (表示切替)」押下で設定ファイルの表示をフルパス ファイル名だけの表示に切り替えます<br>「転送結果」押下で転送結果をクリアします |
| 臨時モードファイル    | 臨時モードにて AP に転送する設定ファイルが表示されます  |
| 臨時モードファイル選択  | 臨時モードにて AP に転送する設定ファイルを選択します   |
| 復帰ファイル       | 臨時モードにて AP に転送する臨時モード復帰用設定ファイルが表示されます  |
| 復帰ファイル選択     | 臨時モードにて AP に転送する臨時モード復帰用設定ファイルを選択します   |
| FW ファイル      | FW 転送にて AP に転送する FW ファイルが表示されます  |
| FW 選択        | FW 転送にて AP に転送する FW ファイルを選択します   |
| FW 転送        | FW ファイルを一覧表示中のチェックの付いた AP に転送 (FTP) します  |

## 2.1 IP アドレスの設定

---

工場出荷時の IP アドレスは、あらかじめ装置インターフェイス IF01 (VLAN なし) に 192.168.0.3/24 に設定がされています。

一括設定ツールを使用しての設定作業では、この IF01 (VLAN なし) に設定される IP アドレスを利用します。

### 個別設定

設定を行う各 AP を識別するために、個別の IP アドレスを設定します。

各 AP に設定されている初期値の IP アドレス (工場出荷初期値 IP アドレス : 192.168.0.3) に WWW ブラウザでログインし、無線ネットワーク設定 > 装置インターフェイス設定 にて、IP アドレス値の変更設定を行ってください。

詳細は、EA-7HW02AP1 の取扱説明書(設定編)の「3.2 IP インターフェイスの設定」を参照してください。

### ZEQUO AssistPlus 利用での設定

当社 AP は、パナソニック ES ネットワーク株式会社のスイッチングハブ用に作成された、ZEQUO Assist Plus (スイッチングハブの操作・設定や運用中の機器監視等の機能が統合された Windows アプリケーション)を利用して、工場出荷初期値状態の AP を複数台まとめて、設定を行うことができます。

詳細は、ZEQUO Assist Plus 取扱説明書「4 IP アドレス簡単設定機能」を参照してください。

## 重要

個別設定で、IP インターフェイス設定変更完了後は、Web コンソール用パソコン側のネットワーク、VLAN 設定を無線 LAN アクセスポイントの設定に合わせて変更してください。設定した値によっては、以降の接続ができなくなります。

個別設定で、IP の変更を行った場合、Web ログインは自動でログアウトされます。お客様のネットワーク構成により、AP 管理用ネットワークに VLAN 設定がされる場合、装置インターフェイス IF01 (VLAN なし) の IP アドレスを、各 AP ローカルログイン・設定用 IP アドレスとして利用するために設定し、お客様のネットワーク構成での AP 管理用 IP アドレス設定 (VLAN あり) は、IF02 以降の装置インターフェイスを使用し設定してください。一括設定ツールで利用する IP アドレスは、IF01 (VLAN なし) の IP アドレスとなります。



## 3.1 雛形設定ファイル作成

---

### 雛形設定ファイルの作成

1 台の AP に WWW ブラウザでログインし Web 設定画面を開き、雛形となる設定ファイルを作成します。主な設定項目は、以下の項目となります。（ IP アドレス設定、ユーザー名/パスワード設定除く）

- ・ SSID/セキュリティ/VLAN (SSID とのマッピング設定)
- ・ 無線インターフェイス (使用周波数帯域、チャンネル、送信出力)

その他、お客様のご要望にしたがって、関連する設定を行ってください。

設定項目の詳細、設定の仕方については、EA-7HW02AP1 の取扱説明書(設定編)の「3.4 SSID 設定」、「3.5 各無線インターフェイスの設定」、「4.1 セキュリティ設定」、「4.3 無線ネットワーク設定」などを参照してください。

### 雛形設定ファイルの保存吸い上げ

1) 上記設定終了後、適用と保存を行い、雛形設定ファイルを完成させます。

設定の適用・保存操作の詳細については、EA-7HW02AP1 の取扱説明書(設定編)の「2.4 Web での設定、保存について」を参照してください。

2) FTP コマンドを利用して、設定ファイル(データ)のバックアップ(ローカル PC への吸い上げ)を行います。

手順の詳細については、EA-7HW02AP1 の取扱説明書(設定編)の「6.1 設定データのバックアップと書き込み」を参照してください。

ターミナルソフトによる Telnet ログインでの CLI コンソールにて、“show config” コマンドで表示される設定コマンド一覧をコピーし、テキストファイル保存の手順でも、雛形設定ファイルの保存が行えます。

CLI コンソールの詳細については、EA-7HW02AP1 の取扱説明書(設定編)の「2.5 CLI コンソールの接続」を参照してください。

### 重要

ログイン名/パスワード(初期値 root/root)の変更については、一括設定ツールを利用して各 AP の設定変更を行うことができません。変更については AP の全ての設定を行ったのち、AP 個別にログインし設定を行ってください。

## 3.2 AP ごとの設定ファイル作成

### 雛形設定ファイル（テキストファイル）コマンド一覧例

一例として、以下のネットワーク構成での設定を行った場合の設定内容を、雛形設定ファイルとして、個別 AP ごとの設定ファイル作成について、説明します。

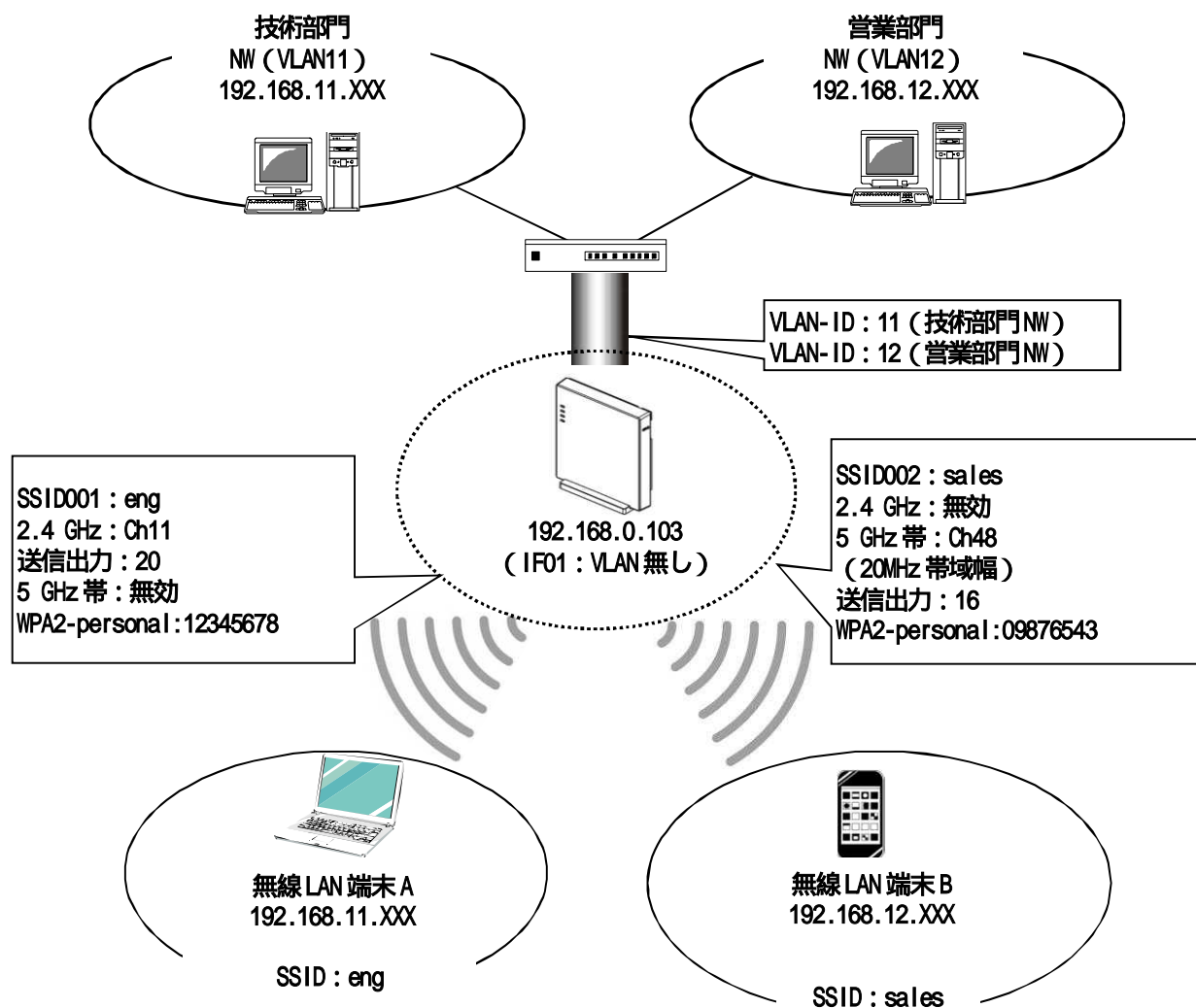


図3.2-1 ネットワーク構成図

### 重要

上記ネットワーク構成での設定内容はあくまで一例であり、設定内容や各 AP への変更内容・変更箇所については、ご利用になるユーザーごとに異なりますので、ご注意ください。

雛形設定ファイル例の設定内容コマンド一覧 (テキストファイル展開時)

|   |   |
|---|---|
| interface ip set IF01 192.168.0.103 255.255.255.0   | 個別 AP の IP アドレス設定   |
| interface vlan status IF02 enabled<br>interface vlan vlanid IF02 11<br>interface status IF02 enabled                | IF02 の VLAN 設定 (VID=11) (全 AP 共通)   |
| interface vlan status IF03 enabled<br>interface vlan vlanid IF03 12<br>interface status IF03 enabled                | IF03 の VLAN 設定 (VID=12) (全 AP 共通)   |
| route default 192.168.0.1 IF01  | AP の GW アドレス (全 AP 共通)  |
| ssidconfig interface SSID01 IF02<br>ssidconfig ssid SSID01 eng<br>ssidconfig radio SSID01 2 disabled                | SSID1:eng 設定 (2.4GHz 無効) (全 AP 共通)  |
| ssidconfig security SSID01 wpa2-personal<br>ssidconfig psk SSID01 12345678<br>ssidconfig pmf status SSID01 disabled | SSID1 のセキュリティ設定/暗号化 (全 AP 共通)<br>(WPA2-personal/12345678)<br>制御信号暗号化無効 (全 AP 共通) (参考設定) |
| ssidconfig interface SSID02 IF03<br>ssidconfig ssid SSID02 sales<br>ssidconfig radio SSID02 1 disabled              | SSID2:sales 設定 (5.0GHz 無効) (全 AP 共通)  |
| ssidconfig security SSID02 wpa2-personal<br>ssidconfig psk SSID02 09876543<br>ssidconfig pmf status SSID02 disabled | SSID1 のセキュリティ設定/暗号化 (全 AP 共通)<br>(WPA2-personal/12345678)<br>制御信号暗号化無効 (全 AP 共通) (参考設定) |
| wlanconfig power level 1 20<br>wlanconfig channel set 1 11  | 2.4GHz チャンネル/送信出力設定   |
| wlanconfig power level 2 16<br>wlanconfig channel set 2 48  | 5.0GHz チャンネル/送信出力設定   |
| wlanconfig channel width 2 20MHz  | 5.0GHz 20MHz 帯域幅 (全 AP 共通)  |

上記雛形設定ファイル例において、AP ごとに設定変更する箇所は、IP アドレス、各周波数チャンネルと送信出力の設定値となります。

---

## 各 AP 用設定ファイルの編集・作成

雛形設定ファイルは、テキストファイルです。

テキストエディタを利用して雛形設定ファイル(テキストファイル)を開き、変更が必要な箇所を編集し、AP ごとに名前を変えて保存します。

各設定ファイルの最後に、“保存(設定内容の保存)”、“適用(設定内容を実際に反映)”に対応するコマンド、“save”、“apply”を必ず追加してください。

雛形設定ファイルにも、保存する際には必ず上記コマンドを追加してください。

追加した場合のファイル内容：

```
.....  
ssidconfig pmf status SSID02 disabled  
wlanconfig power level 1 20  
wlanconfig channel set 1 1  
wlanconfig power level 2 16  
wlanconfig channel set 2 40  
wlanconfig channel width 2 20MHz  
save                追加  
apply               追加
```

各設定項目のパラメータ詳細については、EA-7HW02AP1 の取扱説明書(設定編)を参照してください。

### 重要

上記にある通り、各設定ファイルには、最後に save、apply のコマンドを必ず追加ください。これらのコマンドが漏れていると、本ツールで設定操作を行っても、正しく設定を行うことができません。

各 AP の設定ファイル名を、各 AP の IP アドレス、または名前が含まれるファイル名にすることで、本ツールにて各 AP の設定ファイルを選択する際に、一括で自動的に適切なファイルを選択させることができます。

設定ファイル名の詳細については、本操作説明書「4.2 設定ファイルの設定 (3)設定ファイル名の付け方」を参照してください。

## 4.1 AP 情報 CSV ファイル作成と読込

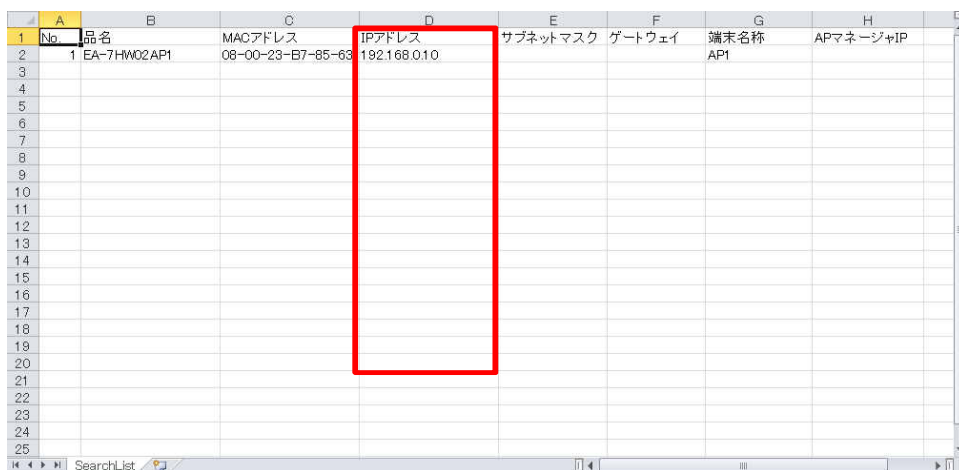
### AP 情報 CSV ファイルの作成

本ツールに、設定を行いたい各 AP の情報 ( IP アドレス・MAC アドレス・機種・名前 ) を CSV ファイルで読み込ませます。読み込ませた CSV ファイル内の IP アドレス値によって、設定流し込み時に各 AP を識別します。

読み込む CSV ファイルは、ZEQUO AssistPlus からの CSV ファイル ( IP アドレス設定時に CSV ファイル保存が可能 ) または独自 CSV ファイル ( 本ツール展開時に同フォルダ内にある AP 情報 CSV ファイルが雛形 ) の両形式に対応しています。

#### ・ZEQUO AssistPlus からの CSV ファイル作成

ZEQUO AssistPlus にて IP アドレス設定時に、以下のような CSV ファイルが保存されます。( IP アドレス・MAC アドレス・AP 名は保存時に自動的に割付け ) AP 名は必要に応じてテキストエディタにて修正ください。




| No | 品名          | MACアドレス           | IPアドレス       | サブネットマスク | ゲートウェイ | 端末名称 | APマネージャIP |
|----|-------------|-------------------|--------------|----------|--------|------|-----------|
| 1  | EA-7HW02AP1 | 08-00-23-B7-85-63 | 192.168.0.10 |          |        | AP1  |           |

図 4.1-1 ZEQUO AssistPlus からの CSV ファイル

#### ・独自 CSV ファイル ( ファイル名 : AP 情報 CSV サンプル.csv ) からの CSV ファイル作成

以下のような CSV ファイルが雛形としてフォルダ内に保存されています。必要な箇所 ( IP アドレス・MAC アドレス・AP 名 ) をテキストエディタで追加修正し、読込ファイルを完成させます。



| IPアドレス       | MACアドレス           | AP機種・名前              | FTPユーザー名 | FTPパスワード | 設定ファイル            |
|--------------|-------------------|----------------------|----------|----------|-------------------|
| 192.168.0.3  | 08-00-23-b7-85-51 | EA-7HW02AP1 W_AP0001 | root     | root     | D:\config0001.dat |
| 192.168.0.35 | 08-00-23-b7-85-52 | EA-7HW02AP1 W_AP0002 | root     | root     | D:\config0001.dat |
| 192.168.0.34 | 08-00-23-b7-85-53 | EA-7HW02AP1 W_AP0003 | root     | root     | D:\config0001.dat |
| 192.168.0.33 | 08-00-23-b7-85-54 | EA-7HW02AP1 W_AP0004 | root     | root     | D:\config0001.dat |
| 192.168.0.32 | 08-00-23-b7-85-55 | EA-7HW02AP1 W_AP0005 | root     | root     | D:\config0001.dat |
| 192.168.0.23 | 08-00-23-b7-85-56 | EA-7HW02AP1 W_AP0006 | root     | root     | D:\config0001.dat |

図 4.1-2 本ツールによる独自 CSV ファイル

## 本ツールへの AP 情報 CSV ファイルの読み込み

本ツールに上記の CSV ファイルを読み込み、一覧に表示させます。

「CSV 読み込み」ボタンをクリックで、AP 情報が記載されている CSV ファイルを読み込みます。

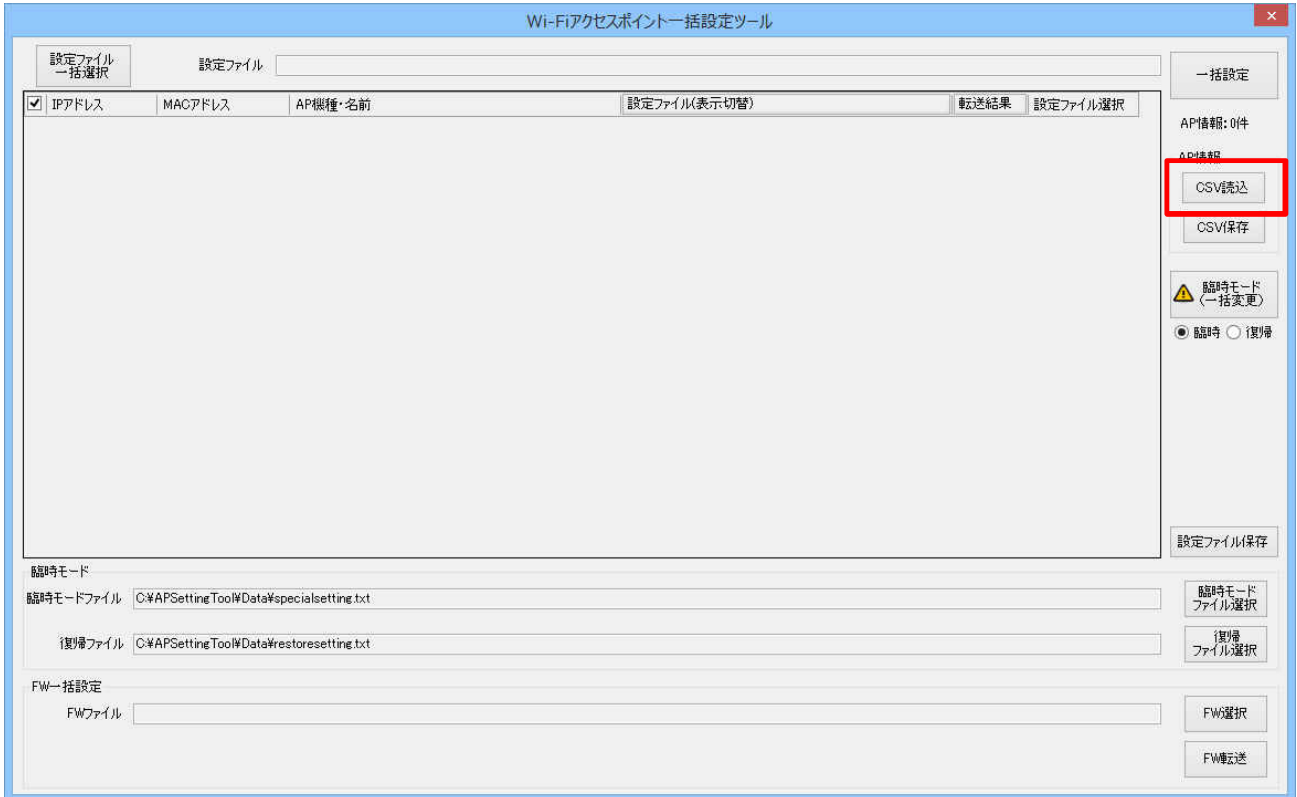


図 4.1-3 一括設定ツール実行時初期画面

ファイル読み込みダイアログが表示されるので、AP 情報 CSV ファイルを選択します。

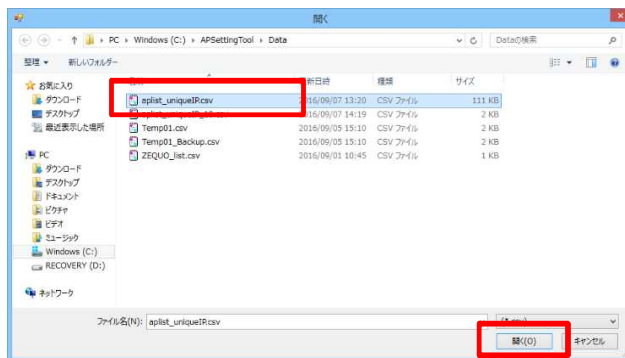


図 4.1-4 CSV ファイル選択画面

一覧表に既に AP 情報が読み込まれている場合（本ツール起動後、CSV ファイル読み込操作 2 回目以降）、下記の確認メッセージを表示します。

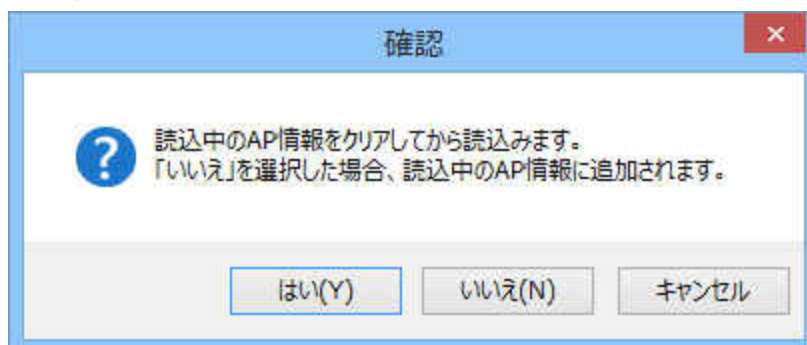


図 4.1-5 確認画面

「はい」選択時は一覧表をクリアして読み込みます。「いいえ」選択時は一覧表に追加読み込みします。一覧表の件数が 10000 件になった場合、読み込みを中断し、下記のように読み込まれなかった件数オーバーメッセージを表示します。

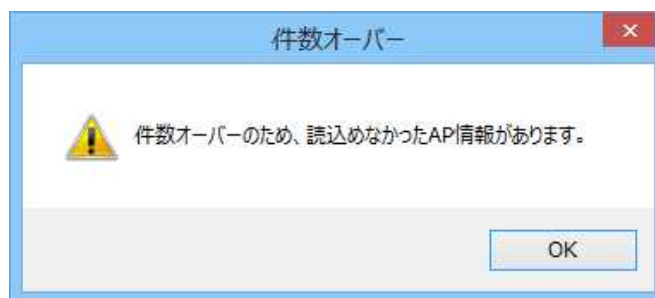


図 4.1-6 件数オーバーメッセージ画面

## 重要

一覧表には、読み込操作「いいえ」選択時に CSV ファイル内に新しい AP 情報があった場合、追加されていきます。

AP 情報が一覧表に表示されます。

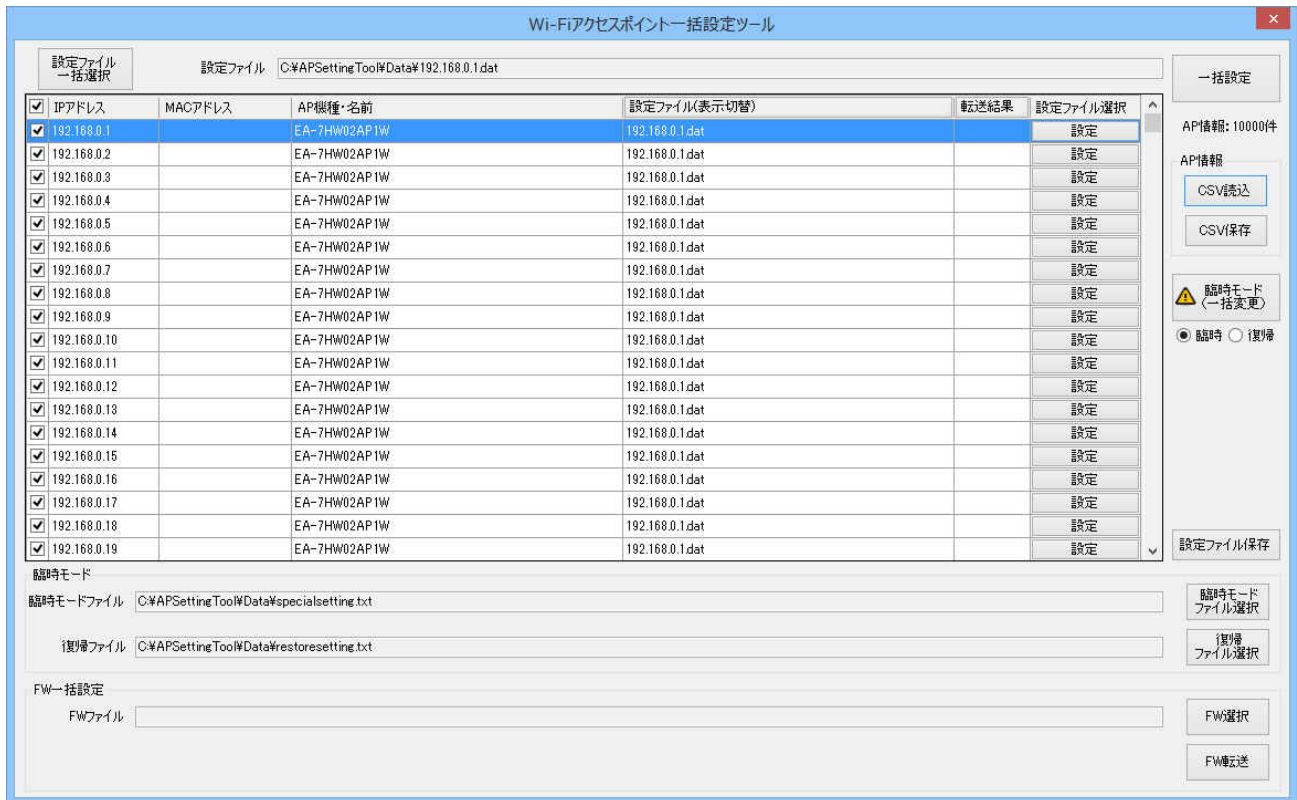


図 4.1-7 AP 情報一覧表示状態の一括設定ツール基本画面



## 4.2 設定ファイルの設定

各 AP に転送する設定ファイルの選択を行います。設定ファイルは、AP ごとに個別に設定ファイルを選択するか、IP アドレス、または AP 名をもとに、各 AP の設定ファイルを一括で選択する方法があります。

一括選択時には、同じ設定ファイルを指定する共通設定、AP ごとに作成した設定ファイルを割り当てる個別設定を、選択することができます。

### 設定ファイル個別選択

AP ごとに、転送する設定ファイルを選択します。

一覧表の AP ごとにある「設定」ボタンクリックで、ファイル選択ダイアログが表示され、設定ファイルを選択します。

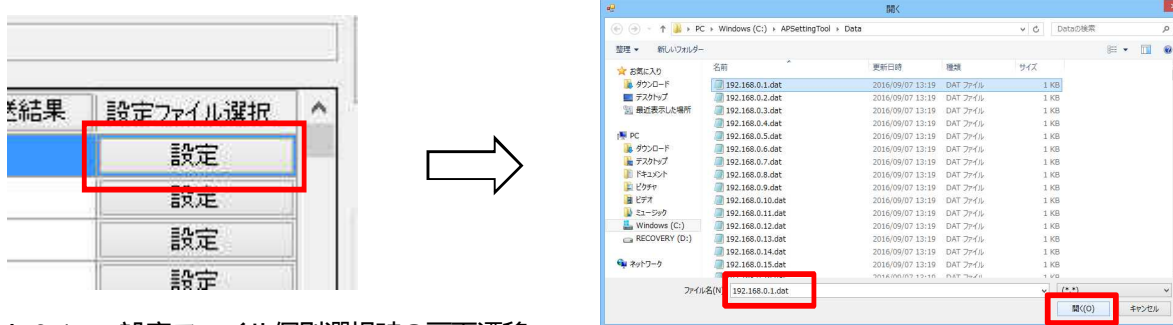


図 4.2-1 設定ファイル個別選択時の画面遷移

設定ファイル欄、一覧表の設定ファイル(表示切替)欄に選択したファイル名が表示されます。

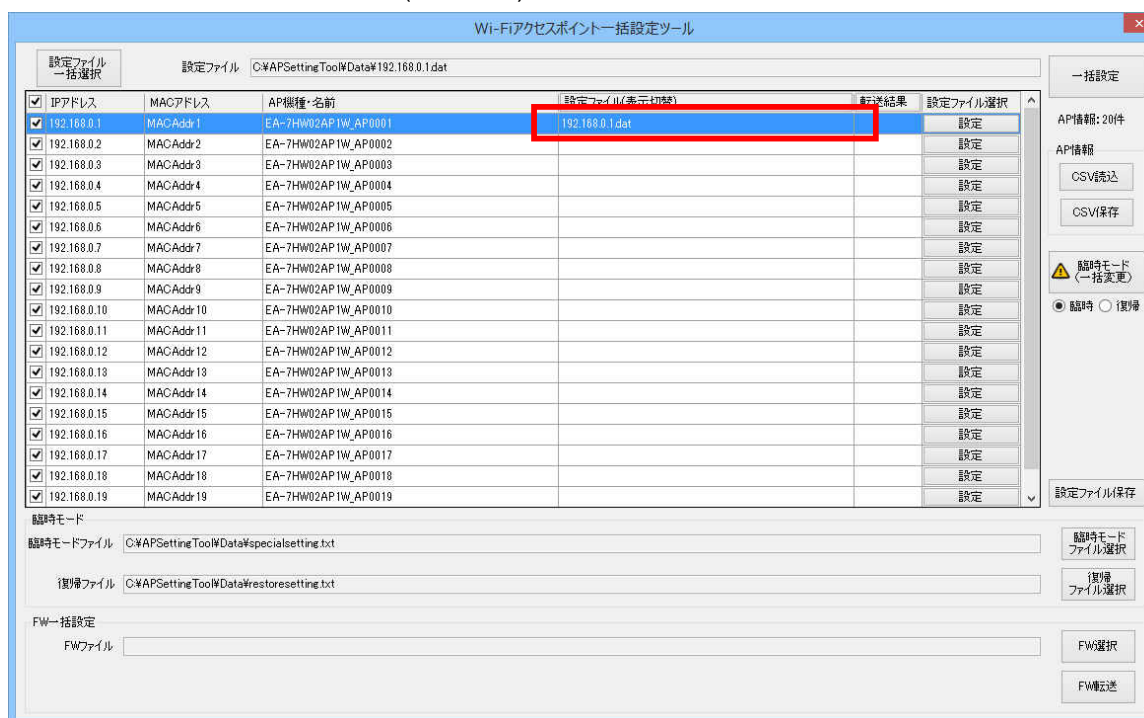


図 4.2-2 設定ファイル選択時の AP 情報一覧表示画面

## 設定ファイル一括選択

各 AP へ転送する設定ファイルを、一括で選択します。

「設定ファイル一括選択」ボタンクリックで、選択ダイアログが表示されます。

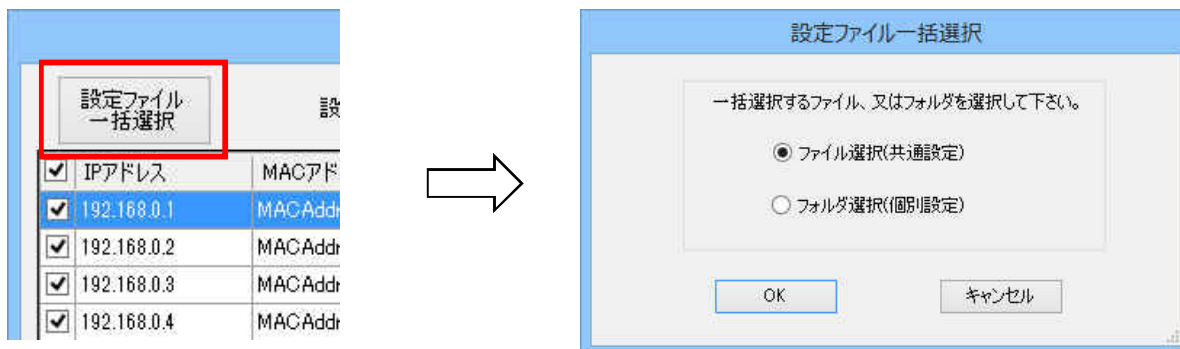


図 4.2-3 設定ファイル一括選択時の画面遷移

## 重要

一覧表に AP 情報が未表示 (AP 情報の CSV ファイル読み込みがされていない) の場合、エラーメッセージを表示し、設定ファイル一括選択は行いません。

### (1) ファイル選択 (共通設定)

ファイル選択ダイアログが表示され、ファイルを指定します。

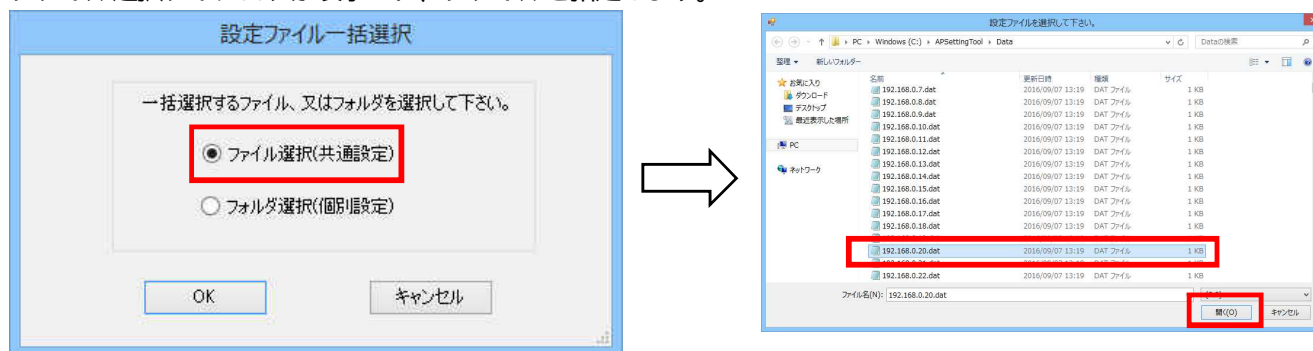


図 4.2-4 ファイル選択 (共通設定) 時の画面遷移

一覧表の設定ファイル(表示切替)欄全てが、選択したファイル名となります。

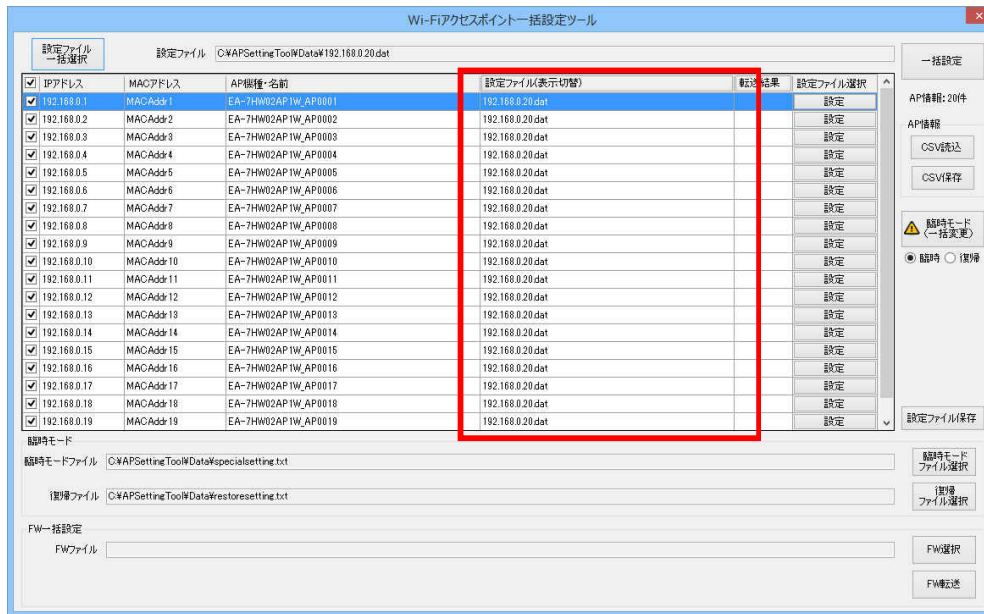


図 4.2-5 設定ファイル選択後の AP 情報一覧表表示画面

## (2) フォルダ選択 (個別設定)

フォルダ選択ダイアログが表示されフォルダを指定します。

選択したフォルダ内にあるファイル名と一覧表の IP アドレス、または AP 機種・名前を比較し、対応するファイルを、各 AP の設定ファイルとして割り当てます。



図 4.2-6 フォルダ選択 (個別設定) 時の画面遷移

一覧表の設定ファイル(表示切替)欄にIPアドレスまたはAP機種・名前に対応した設定ファイルが表示されます。

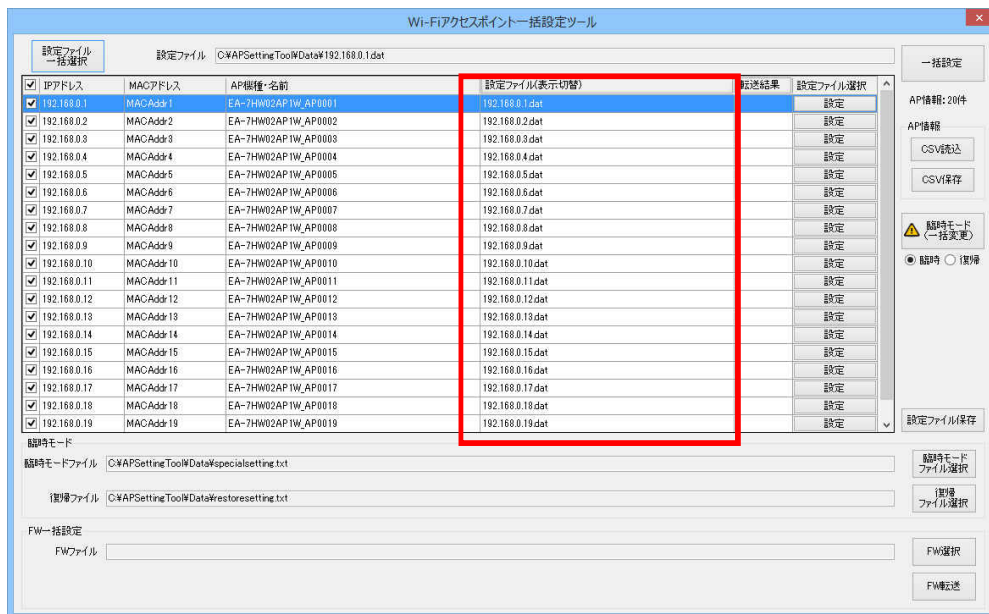


図 4 .2-7 設定ファイル選択後の AP 情報一覧表表示画面

### (3)設定ファイル名の付け方

一括選択の個別選択により、AP ごとに作成した設定ファイルを、各 AP に適切に割り当てるためには、設定ファイルのファイル名を、一覧表の IP アドレス、または AP 機種・名前が含まれるファイル名としてください。

IP アドレスまたは AP 機種・名前の前後に “\_” (アンダーバー) を付けることで、任意文字列を付加することができます。( IP アドレスと “\_” は半角としてください)

例) IP アドレス(192.168.0.10) , AP 機種・名前(AP10)の設定ファイルとして認識されるファイル名

| ファイル名  | 備考                              |
|--|---------------------------------|
| 192.168.0.10.dat<br>AP10.dat                                       | IP アドレス, AP 機種・名前だけのファイル名       |
| 192.168.0.10_config.txt<br>AP10_config.txt                         | IP アドレス, AP 機種・名前の後ろに文字列を付加する場合 |
| 20170228_192.168.0.10_original.conf<br>20170228_AP10_original.conf | IP アドレス, AP 機種・名前の前後に文字列を付加する場合 |

**重要**

一覧表に同じ AP 機種・名前があった場合、設定ファイル選択時に最初に一致した AP にもみ設定ファイルが割り当てられ、以降の AP には割り当てられません。

## 4.3 一括設定

一覧表で選択された各 AP に、「設定」または「設定ファイル一括選択」で選択された設定ファイルを転送します。

対象とします AP のチェックボックスにチェックを入れ、「一括設定」ボタンをクリックし、設定を行います。設定実行前に実行確認のメッセージが表示されます。また、設定ファイルが選択されていない AP がある場合は、選択されていない旨のメッセージが表示されます。

確認メッセージの「はい」ボタンで一括設定を行います。



図 4.5-1 一括設定操作時の画面遷移

### 重要

一覧表に AP 情報が未表示 (AP 情報の CSV ファイル読み込みがされていない)、または対象 AP が未選択 (一覧表の AP チェックボックスで 1 つも AP が選択されていない) 場合は、一括設定は行いません。

「設定ファイル転送中・・・」のプログレスバーが表示され、転送状況を表示します。

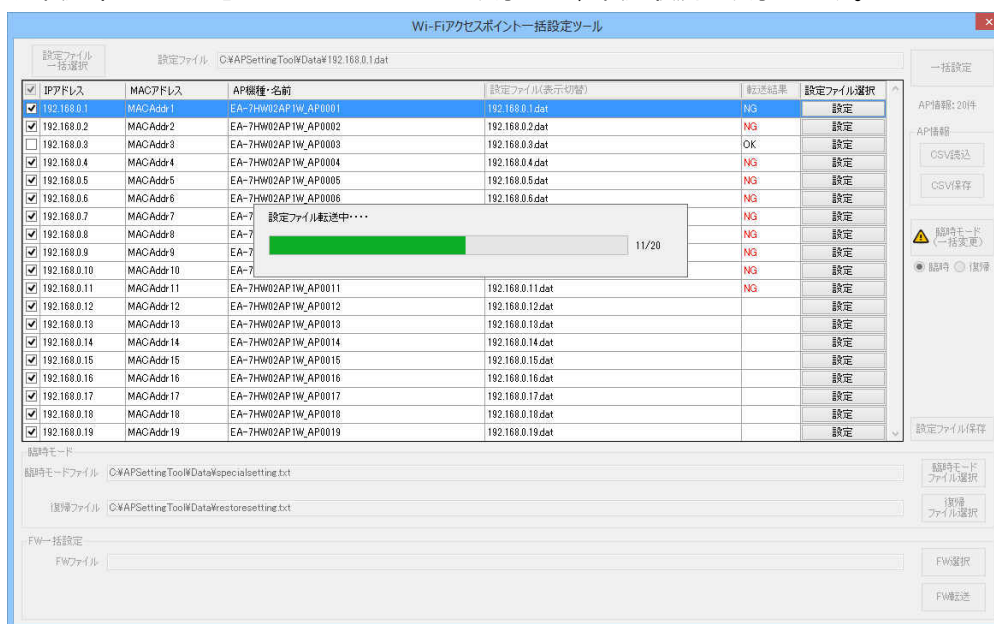


図 4.5-2 設定ファイル転送中画面

転送が完了したメッセージが表示されます。失敗がある場合、失敗件数が表示されます。

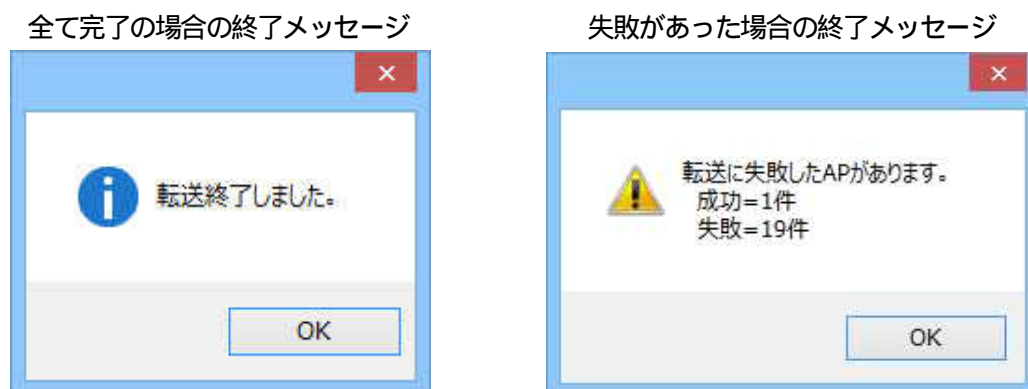


図 4.5-3 メッセージ画面

一覧表に転送結果が表示されます。

正常に完了した場合は、転送結果に“OK”が表示され、チェックが外されます。失敗した場合は、転送結果に“NG”が表示され、チェックはそのままになります。



図 4.5-4 “一括設定” 転送完了後の AP 情報一覧表表示画面

## 重要

転送完了後、AP 側で設定保存・適用に 3 分程度掛かります。その間 AP の電源は切らないでください。設定保存・適用中は、AP の操作はできません。設定ファイル保存操作は、3 分以上経ってから行ってください。

## 4.4 AP 情報 CSV ファイル保存

一覧表の AP 情報が CSV ファイルに保存されます。(独自形式の CSV ファイルに保存されます)

AP 情報「CSV 保存」ボタンをクリックします。

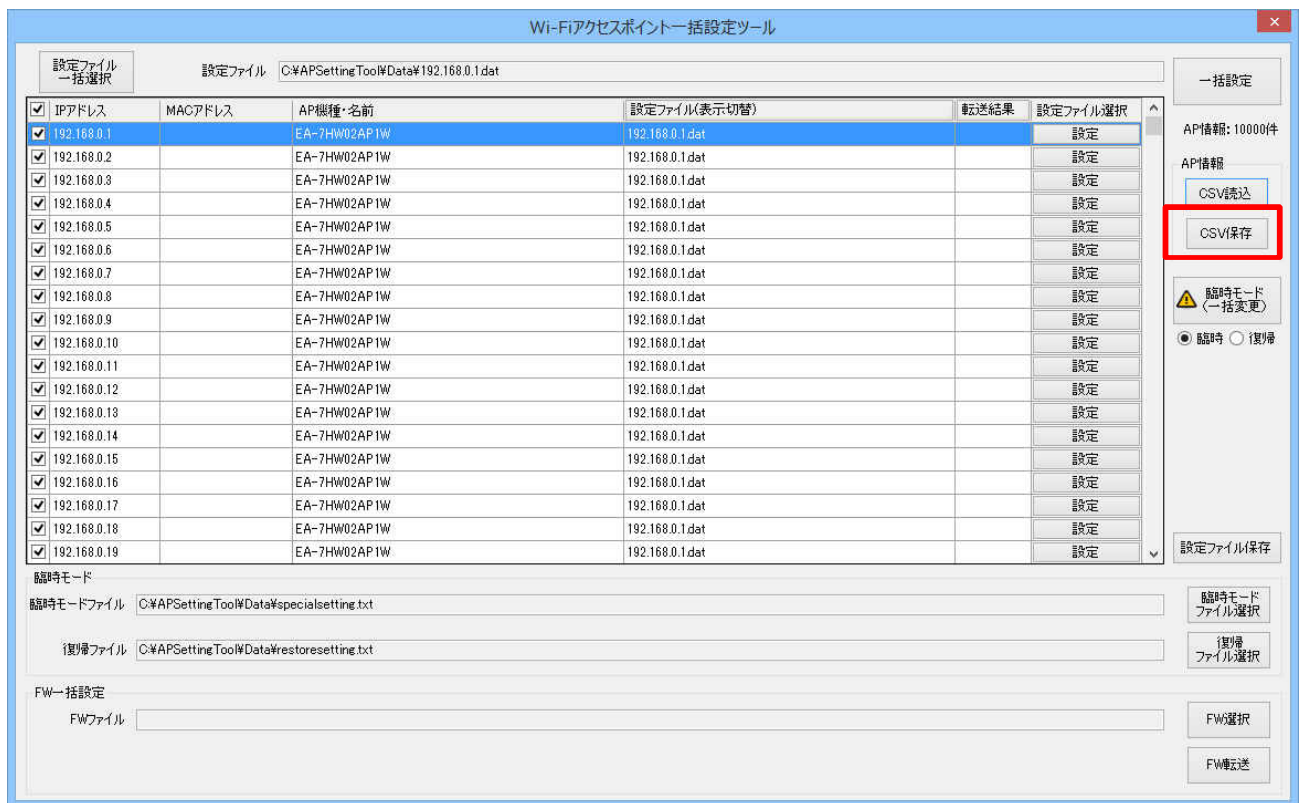


図 4.4-1 AP 情報一覧表表示画面

ファイル保存ダイアログが表示されるので、保存時の CSV ファイル名を入力します。

「保存(S)」ボタンクリックで、一覧表の AP 情報が保存されます。

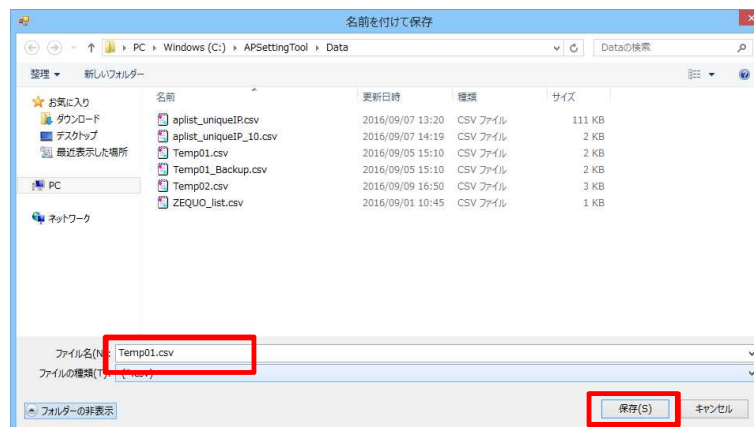


図 4.4-2 CSV ファイル保存時の画面

---

## 重要

一覧表に AP 情報が未表示 ( AP 情報の CSV ファイル読み込みがされていない ) の場合、エラーメッセージを表示し、CSV ファイル保存は行いません。  
選択したファイル情報 ( 各設定ファイル、FW ファイル ) も CSV ファイルに保存されません。



## 4.5 設定ファイル保存

一覧表で選択した AP から、設定ファイルをダウンロードすることができます。設定ファイルは、指定した保存フォルダに IP アドレスまたは AP 機種・名前をファイル名として、保存することができます。

「設定ファイル保存」ボタンを押下すると、フォルダ選択ダイアログが表示されます。

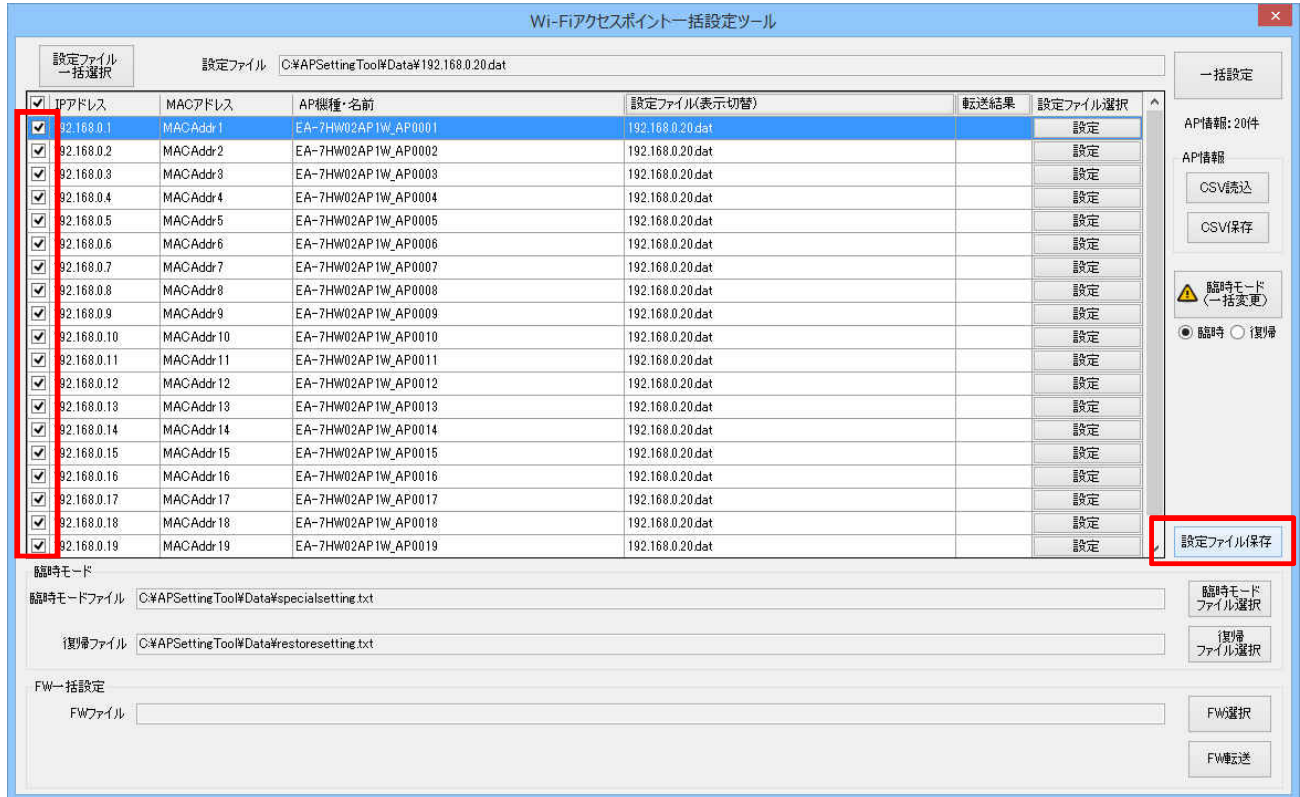


図 4.5-1 AP 情報一覧表表示画面

### 重要

一覧表に AP 情報が未表示 (AP 情報の CSV ファイル読み込みがされていない)、または対象 AP が未選択 (一覧表の AP チェックボックスで 1 つも AP が選択されていない) の場合は、設定ファイル保存は行いません。

設定ファイル保存フォルダを選択すると、設定ファイル保存名選択ダイアログが表示され、保存するファイル名の選択を行います。

- ・ IP アドレスファイル名での保存
- ・ AP 機種・名称ファイル名での保存

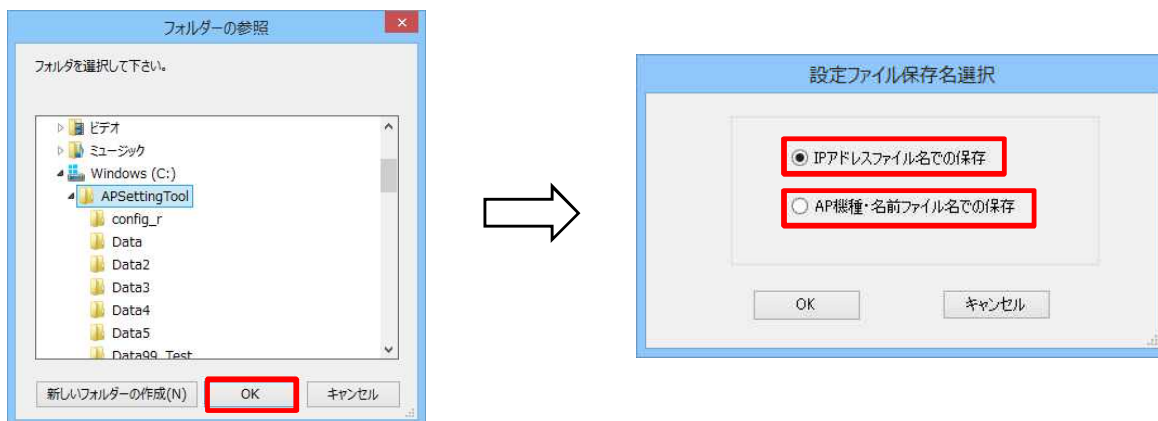


図 4.5-2 設定ファイル保存フォルダ選択時の画面遷移

確認ダイアログが表示されます。実行する場合は「はい」を押下します。

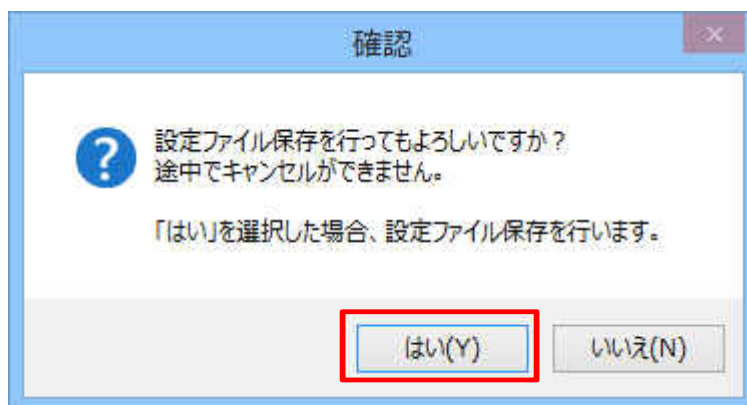


図 4.5-3 確認画面

「設定ファイル取得中・・・」のプログレスバーが表示され、ダウンロード状況を表示します。

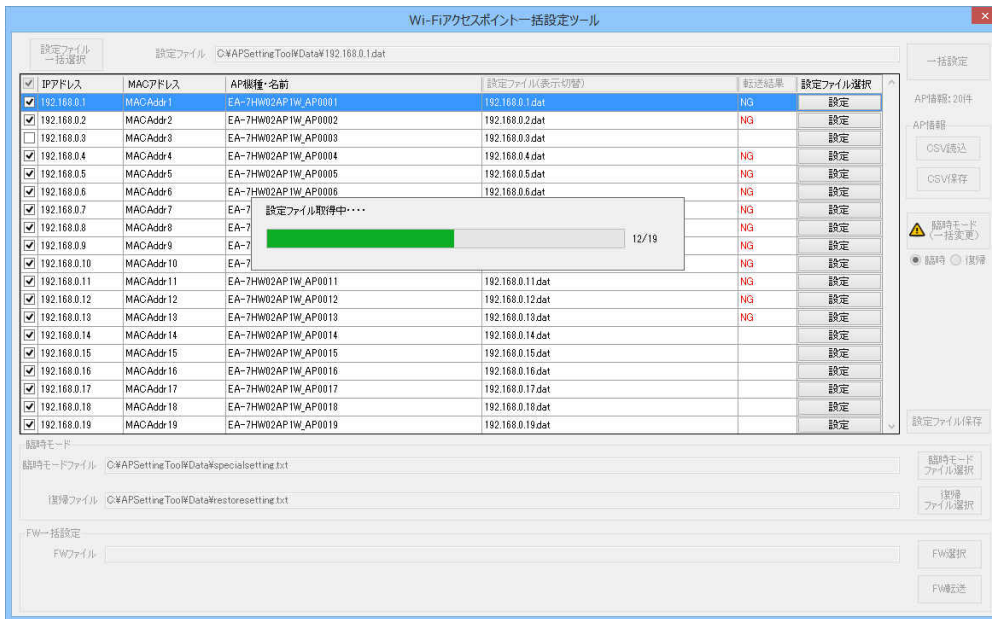


図 4.5-4 設定ファイルダウンロード中画面

ダウンロードが完了したメッセージが表示されます。失敗がある場合、失敗件数が表示されます。

全て完了の場合の終了メッセージ

失敗があった場合の終了メッセージ

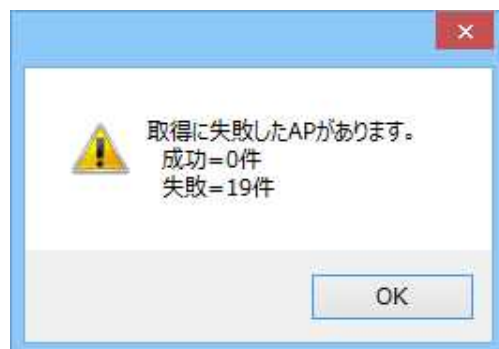
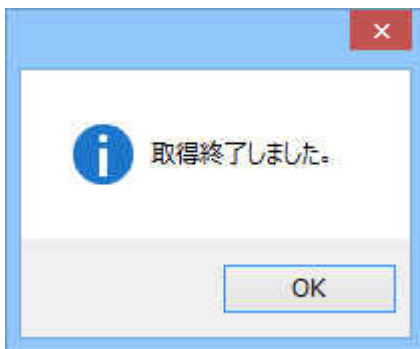
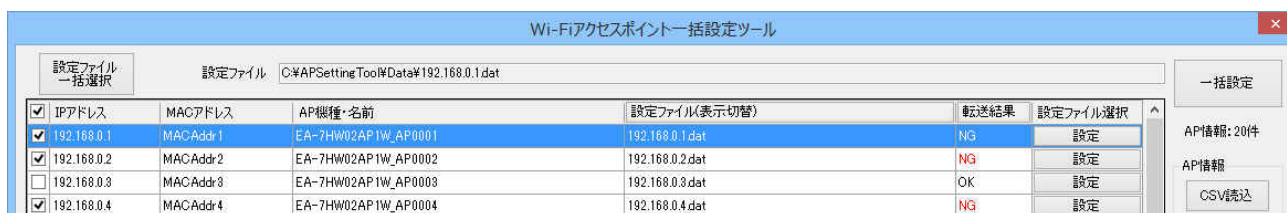


図 4.5-5 メッセージ画面

一覧表にダウンロード結果が表示されます。

正常に完了した場合は、ダウンロード結果に“OK”が表示され、チェックが外されます。失敗した場合は、ダウンロード結果に“NG”が表示され、チェックはそのままになります。



| IPアドレス                              | MACアドレス     | AP機種・名前  | 設定ファイル(表示切替)        | 転送結果            | 設定ファイル選択 |    |
|-------------------------------------|-------------|----------|---------------------|-----------------|----------|----|
| <input checked="" type="checkbox"/> | 192.168.0.1 | MACAddr1 | EA-7HW02AP1W_AP0001 | 192.168.0.1.dat | NG       | 設定 |
| <input checked="" type="checkbox"/> | 192.168.0.2 | MACAddr2 | EA-7HW02AP1W_AP0002 | 192.168.0.2.dat | NG       | 設定 |
| <input type="checkbox"/>            | 192.168.0.3 | MACAddr3 | EA-7HW02AP1W_AP0003 | 192.168.0.3.dat | OK       | 設定 |
| <input checked="" type="checkbox"/> | 192.168.0.4 | MACAddr4 | EA-7HW02AP1W_AP0004 | 192.168.0.4.dat | NG       | 設定 |

図 4.5-6 ダウンロード完了後の AP 情報一覧表表示画面

ダウンロードされた設定ファイルは、指定されたフォルダ内に、設定ファイル保存名選択で選択したファイル名で保存されます。

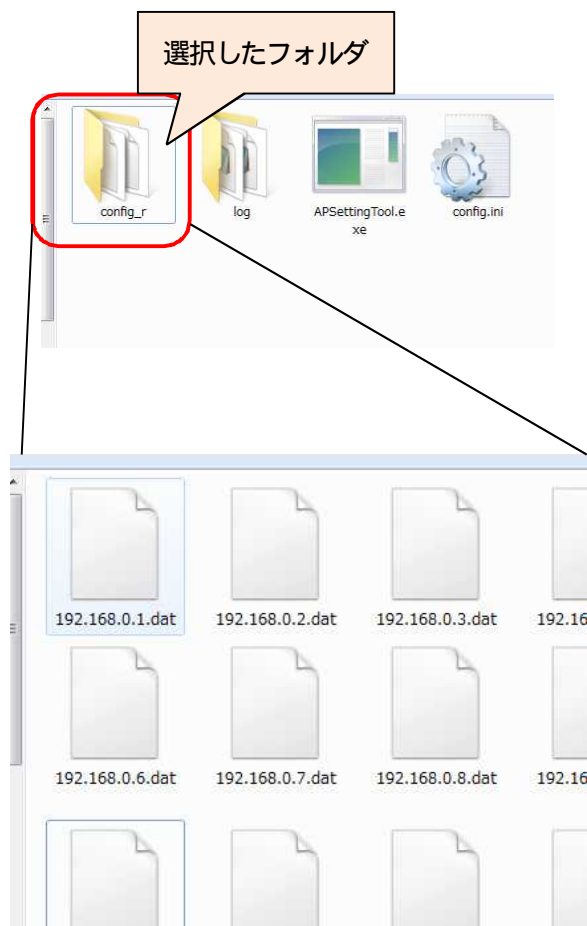


図 4.5-7 設定ファイル保存フォルダ内の設定ファイル名状態

**重要**

保存されるファイル名( IP アドレス、または AP 機種・名前)が重複している場合、後からダウンロードされたファイルによって、上書き保存されます。

## 5.1 本ツールの終了

本ツールを終了します。

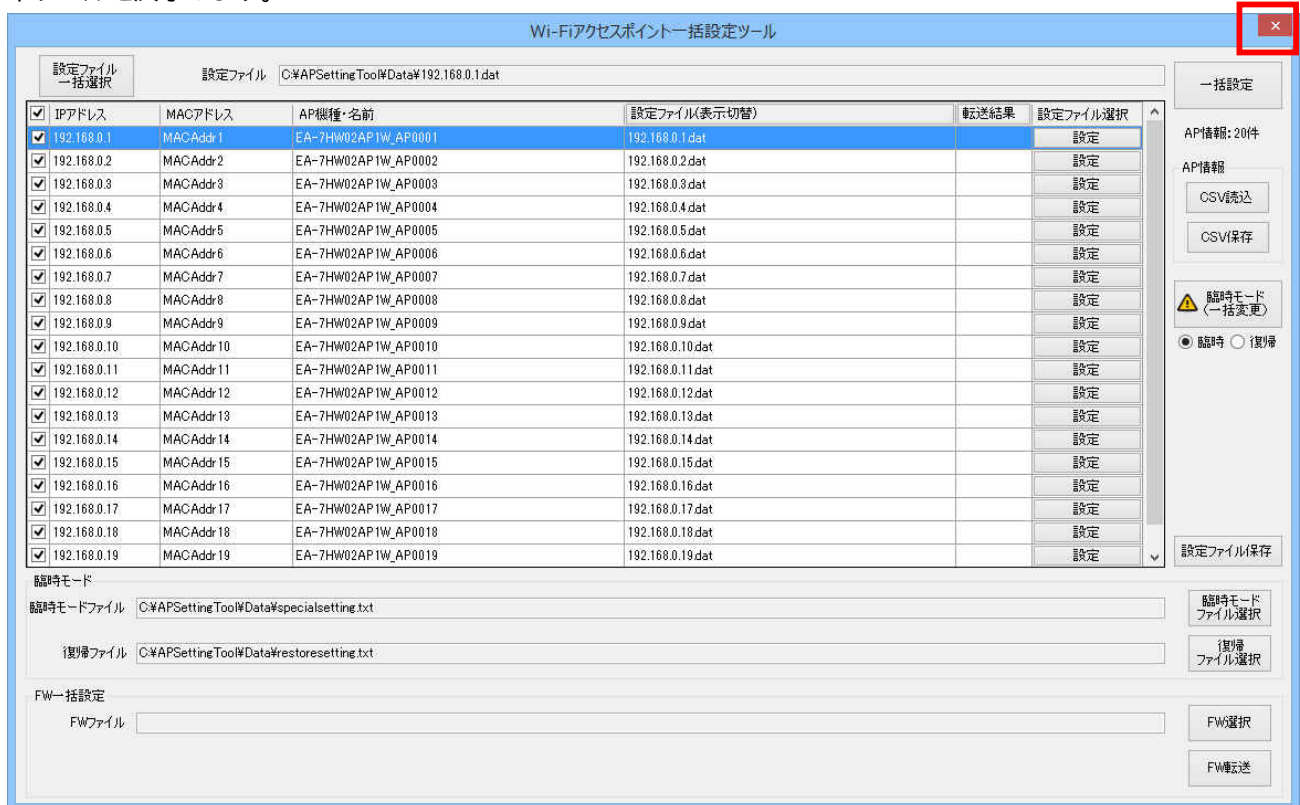



図5.1-1 AP 情報一覧表表示画面

 をクリックします。

終了確認ダイアログが表示され、「はい」ボタンクリックで、本ツールを終了します。

「いいえ」ボタンクリックで、何も行わず、メイン画面に戻ります。

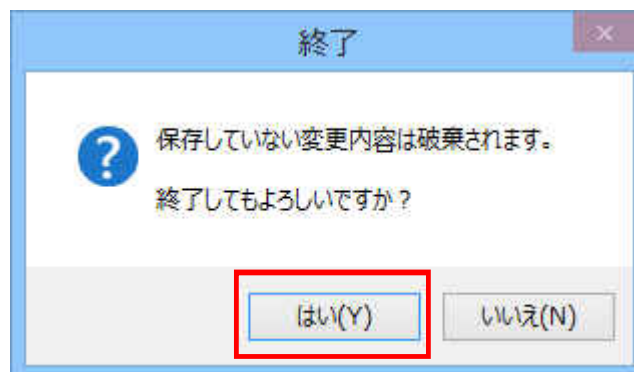


図5.1-2 確認画面

### 重要

本ツール終了時に、一覧表示されている AP 情報は保存されません。本ツールの再起動時には、改めて最初に AP 情報 CSV ファイル読みを行う必要があります。本ツール終了時には、必ず AP 情報 CSV ファイル保存を行ってください。

## 6.1 臨時モード（一括設定）

災害時の避難者に対してフリーWi-Fiを一斉に開放するなどの“臨時”の設定変更対応を、即時に行うための操作機能です。

臨時モード（一括変更）は、選択された臨時モードの設定ファイル/復帰の設定ファイルを、選択されたAPに転送します。

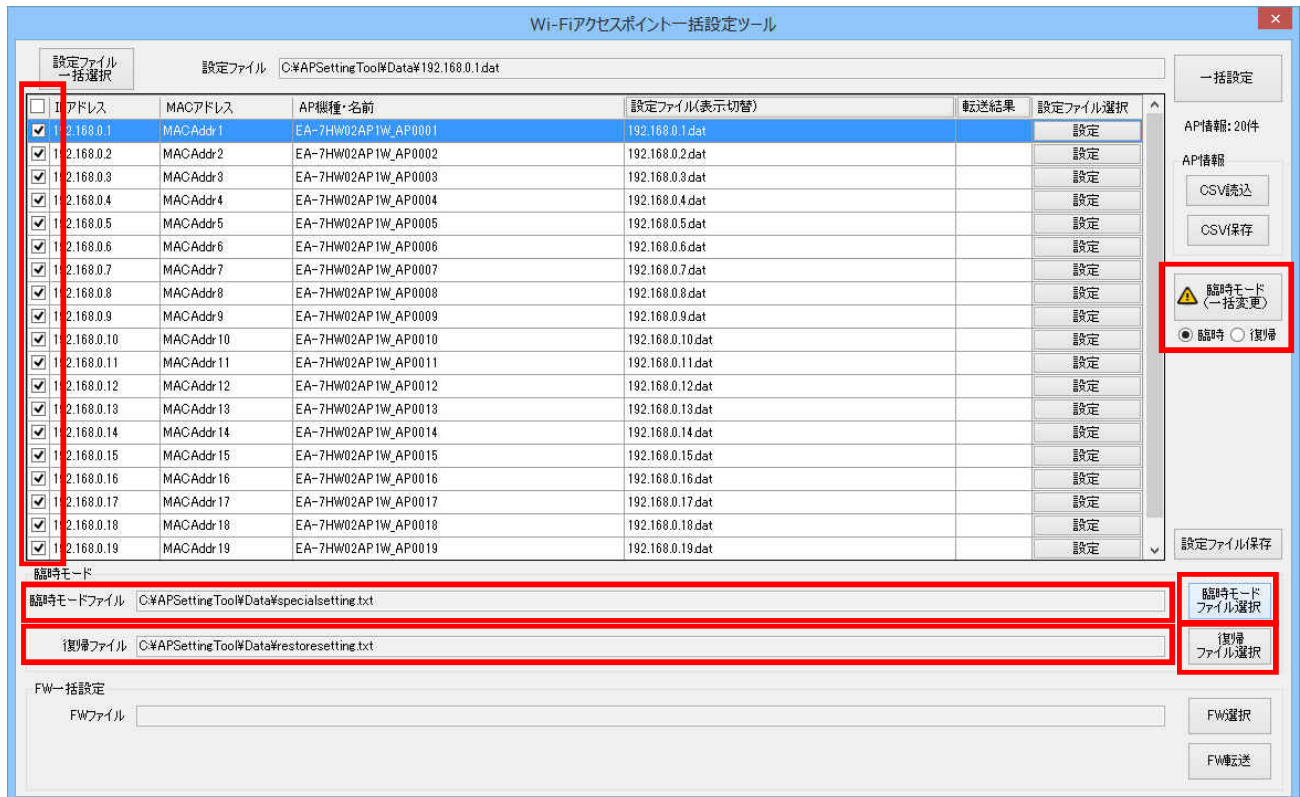


図6.1-1 AP情報一覧表表示画面

## 臨時モードの設定ファイル/復帰ファイルの例

一例として、以下のネットワーク構成で設定を行った場合の、臨時モードの設定ファイル（復帰ファイル）の設定ファイル作成について、説明します。

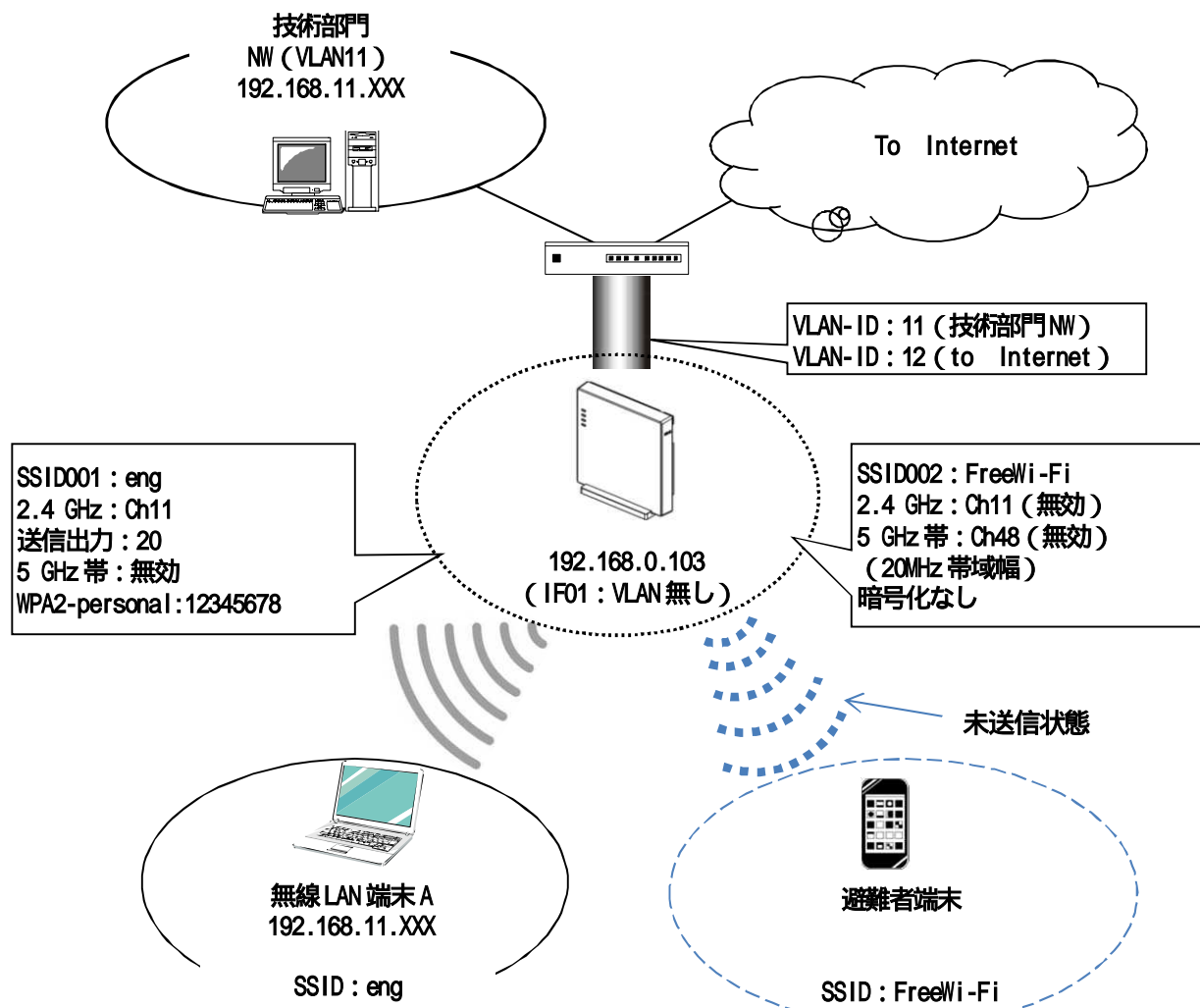


図6.1-2 ネットワーク構成図

### 重要

上記ネットワーク構成での設定内容はあくまで一例であり、設定内容や各 AP への変更内容・変更箇所については、ご利用になるユーザーごとに異なりますので、ご注意ください。

前述一例の設定内容コマンド一覧 (テキストファイル展開時)

```
interface ip set IF01 192.168.0.103 255.255.255.0
interface vlan status IF02 enabled
interface vlan vlanid IF02 11
interface status IF02 enabled
interface vlan status IF03 enabled
interface vlan vlanid IF03 12
interface status IF03 enabled
route default 192.168.0.1 IF01
ssidconfig interface SSID01 IF02
ssidconfig ssid SSID01 eng
ssidconfig radio SSID01 2 disabled
ssidconfig security SSID01 wpa2-personal
ssidconfig psk SSID01 12345678
ssidconfig pmf status SSID01 disabled
ssidconfig interface SSID02 IF03
ssidconfig ssid SSID02 FreeWiFi
ssidconfig radio SSID02 1 disabled
ssidconfig radio SSID02 2 disabled
ssidconfig pmf status SSID02 disabled
wlanconfig power level 1 20
wlanconfig channel set 1 11
wlanconfig power level 2 16
wlanconfig channel set 2 48
wlanconfig channel width 2 20MHz
```

“FreeWiFi” の設定

“FreeWiFi” の設定はされているが  
2.4G/5G 両方で送信しないよう無効設定



---

・臨時モード（一括設定）ファイルの作成

“FreeWiFi”を、2.4G/5G 両無線 IF で“有効”にする設定をします。したがって以下の設定内容ファイルとなります。

```
ssidconfig radio SSID02 1 enabled
ssidconfig radio SSID02 2 enabled
save                               追加
apply                              追加
```

各設定ファイルの最後に、“保存（設定内容の保存）”、“適用（設定内容を実際に反映）”に対応するコマンド、“save”、“apply”を必ず追加してください。

・復帰ファイルの作成

“FreeWiFi”を、元のように“無効”にする設定をします。したがって以下の設定内容ファイルとなります。

```
ssidconfig radio SSID02 1 disabled
ssidconfig radio SSID02 2 disabled
save                               追加
apply                              追加
```

各設定ファイルの最後に、“保存（設定内容の保存）”、“適用（設定内容を実際に反映）”に対応するコマンド、“save”、“apply”を必ず追加してください。

上記設定ファイル内容にて、それぞれ“臨時モードファイル”は“臨時モードファイル”フォルダへ、“復帰ファイル”は“臨時モード復帰ファイル”フォルダへ、保存を行います。

## 重要

上記にある通り、各設定ファイルには、最後に save、apply のコマンドを必ず追加ください。これらのコマンドが漏れていると、本ツールで臨時モード操作を行っても、正しく設定を行うことができません。

## 臨時モードファイル選択

臨時モード（一括変更）を行うファイルを選択します。

「臨時モードファイル選択」ボタンをクリックし、ファイル選択ダイアログ表示、対象ファイルを選択します。

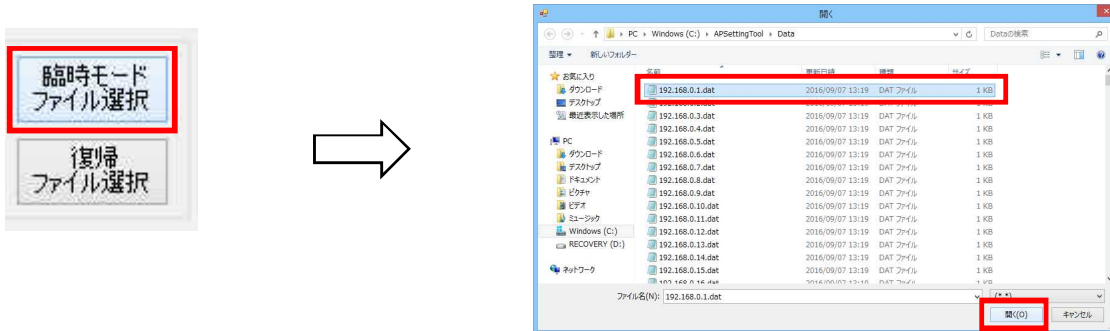


図6.1-3 臨時モードファイル選択時の遷移画面

選択したファイルが臨時モードファイルに表示されることを確認します。

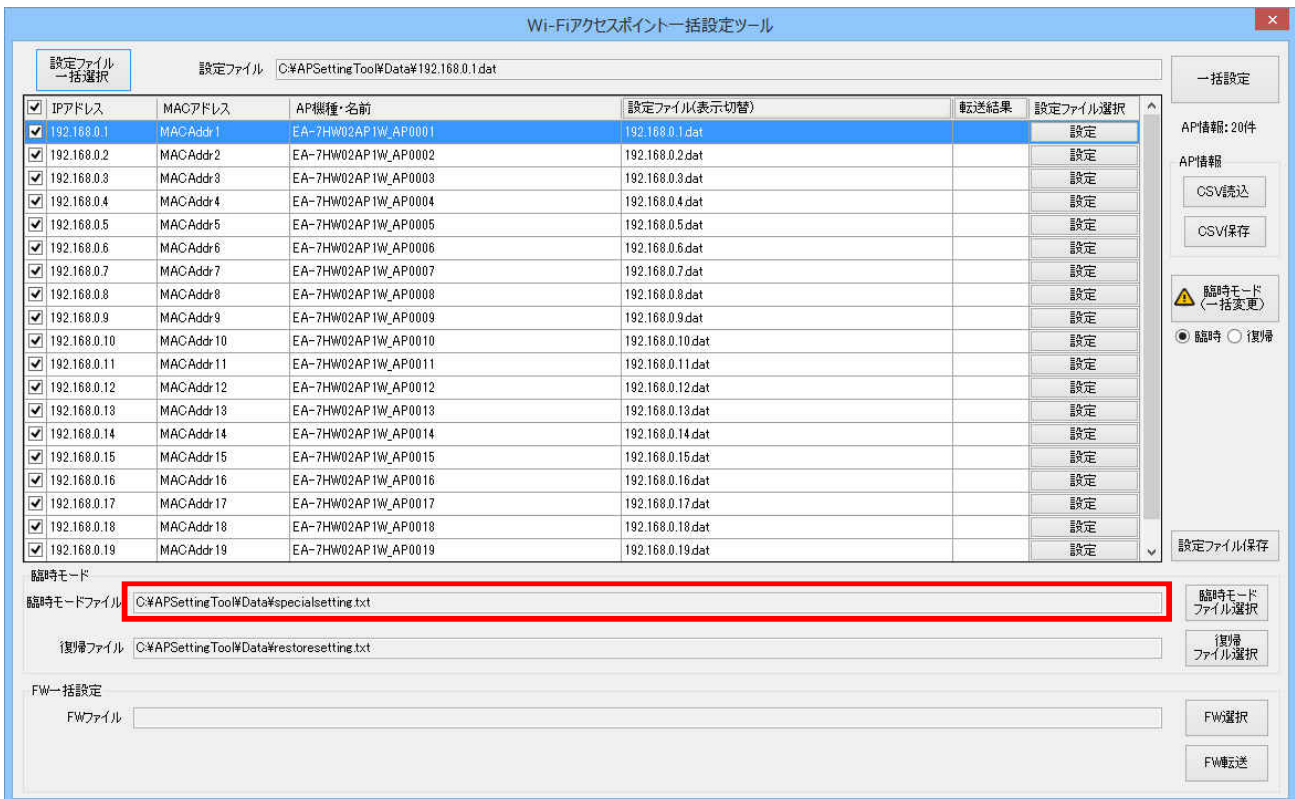


図6.1-4 臨時モードファイル選択後の画面

## 臨時モード復帰ファイル選択

臨時モード（一括変更）（復帰）を行うファイルを選択します。

「復帰ファイル選択」ボタンをクリックし、ファイル選択ダイアログ表示、対象ファイルを選択します。

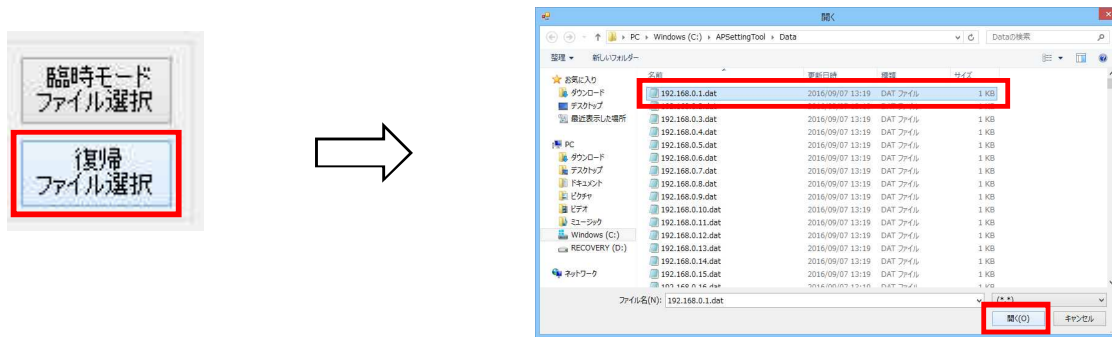


図6.1-5 復帰ファイル選択時の遷移画面

選択したファイルが復帰ファイルに表示されることを確認します。

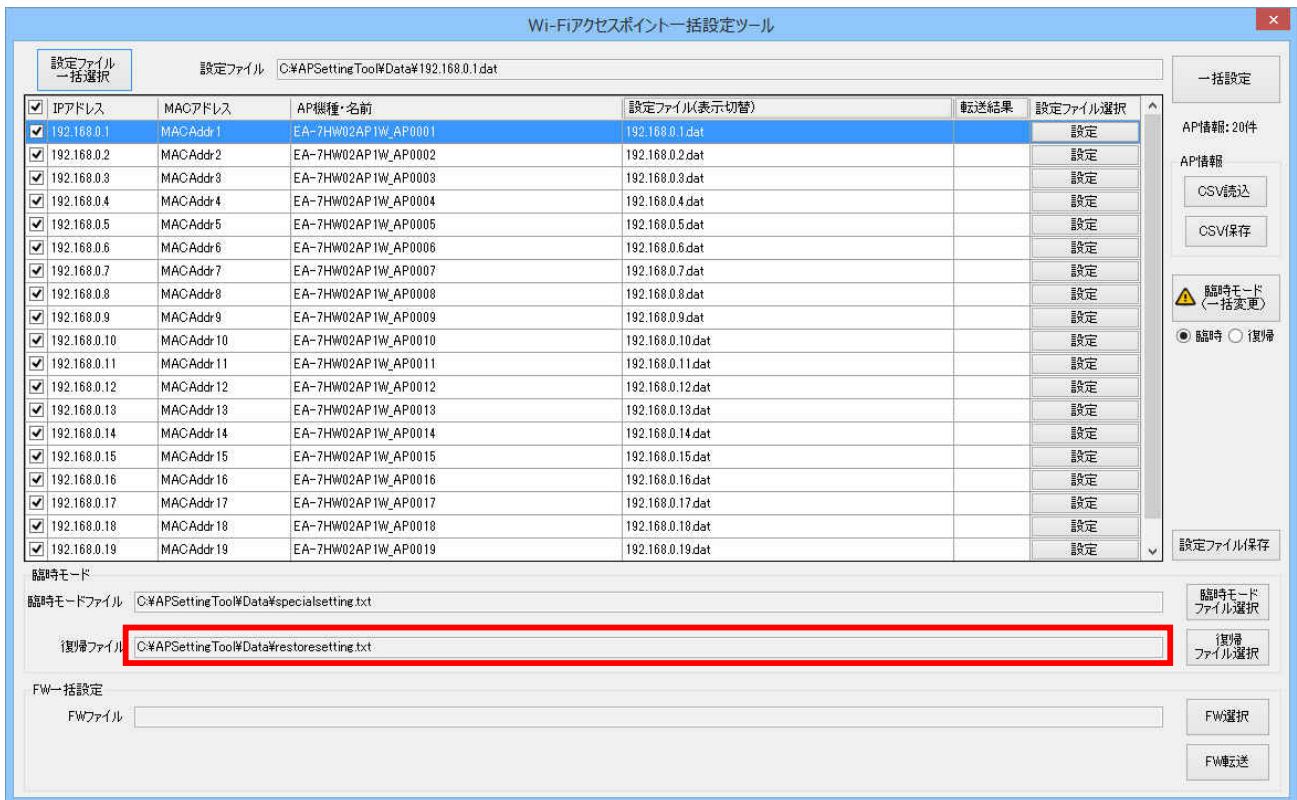


図6.1-6 復帰ファイル選択後の画面

### 臨時モード（一括変更）

一覧表で選択された AP に、臨時モードファイル（設定ファイル）を転送します。

「臨時モード（一括変更）」ボタンクリックで、確認メッセージが表示されます。「はい」ボタンで、チェックした AP に臨時モードファイルの転送を行います。



図6.1-7 臨時モード操作時の遷移画面

## 重要

一覧表に AP 情報が未表示（AP 情報の CSV ファイル読み込がされていない）、対象 AP が未選択（一覧表の AP チェックボックスで 1 つも AP が選択されていない）、または臨時モードファイルが選択されていない場合は、臨時モード（一括設定）は行いません。

「設定ファイル転送中・・・」のプログレスバーが表示され、転送状況を表示します。

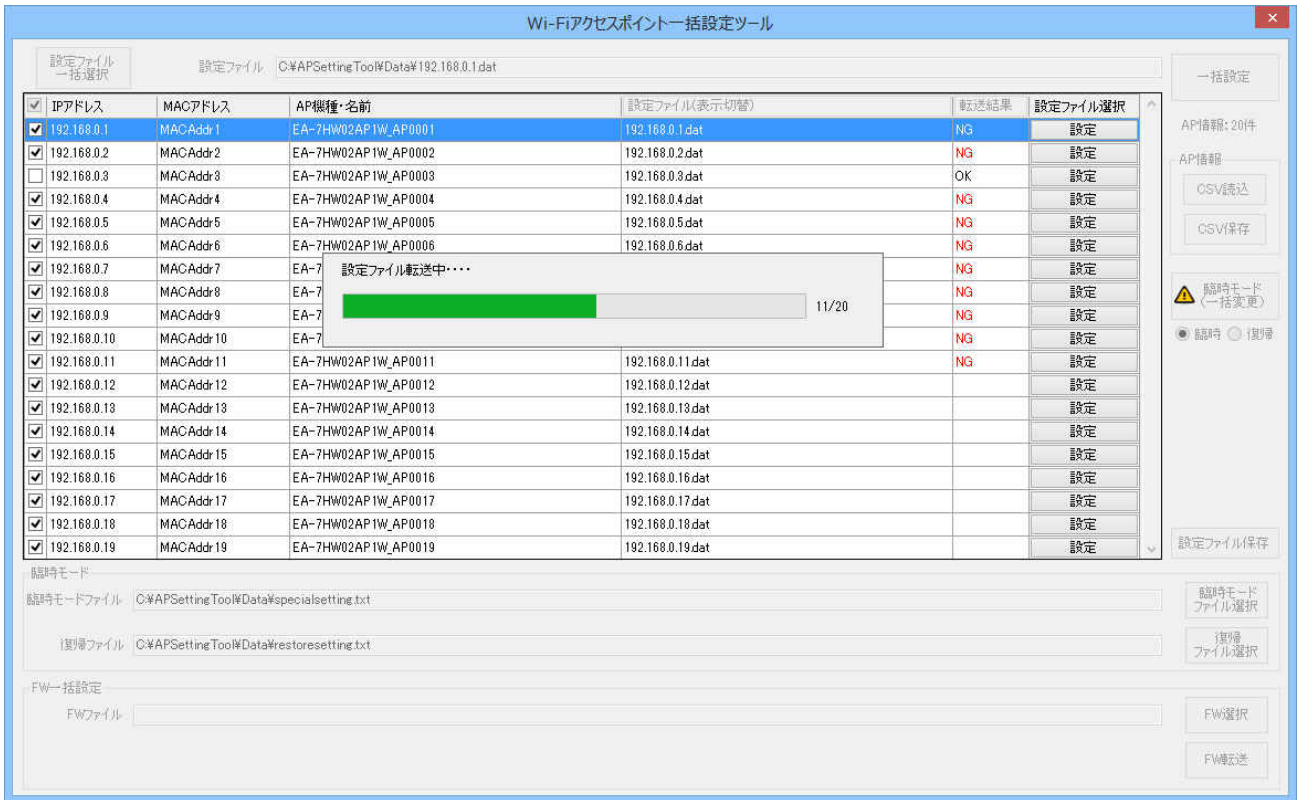


図6.1-8 臨時モード設定ファイル転送中画面

転送が完了したメッセージが表示されます。失敗がある場合、失敗件数が表示されます。

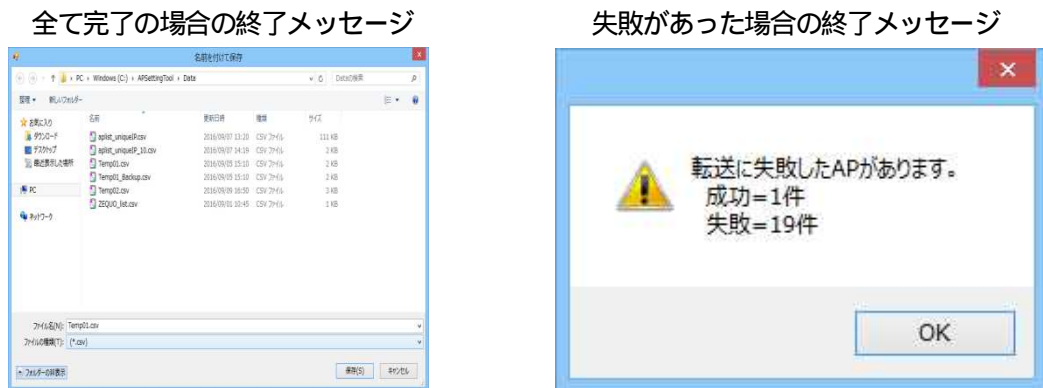


図6.1-9 メッセージ画面

一覧表に転送結果が表示されます。

正常に完了した場合は、転送結果に“ OK ”が表示され、チェックが外されます。失敗した場合は、転送結果に“ NG ”が表示され、チェックはそのままになります。

転送結果が「OK」が一つ以上あった場合、「臨時モード（一括変更）」ボタンが赤色となり、「復帰」ラジオボタン選択となります。この場合、「臨時モード（一括変更）」ボタン操作にて、“ 復帰ファイル ”が転送ファイルとして選択されていることとなります。

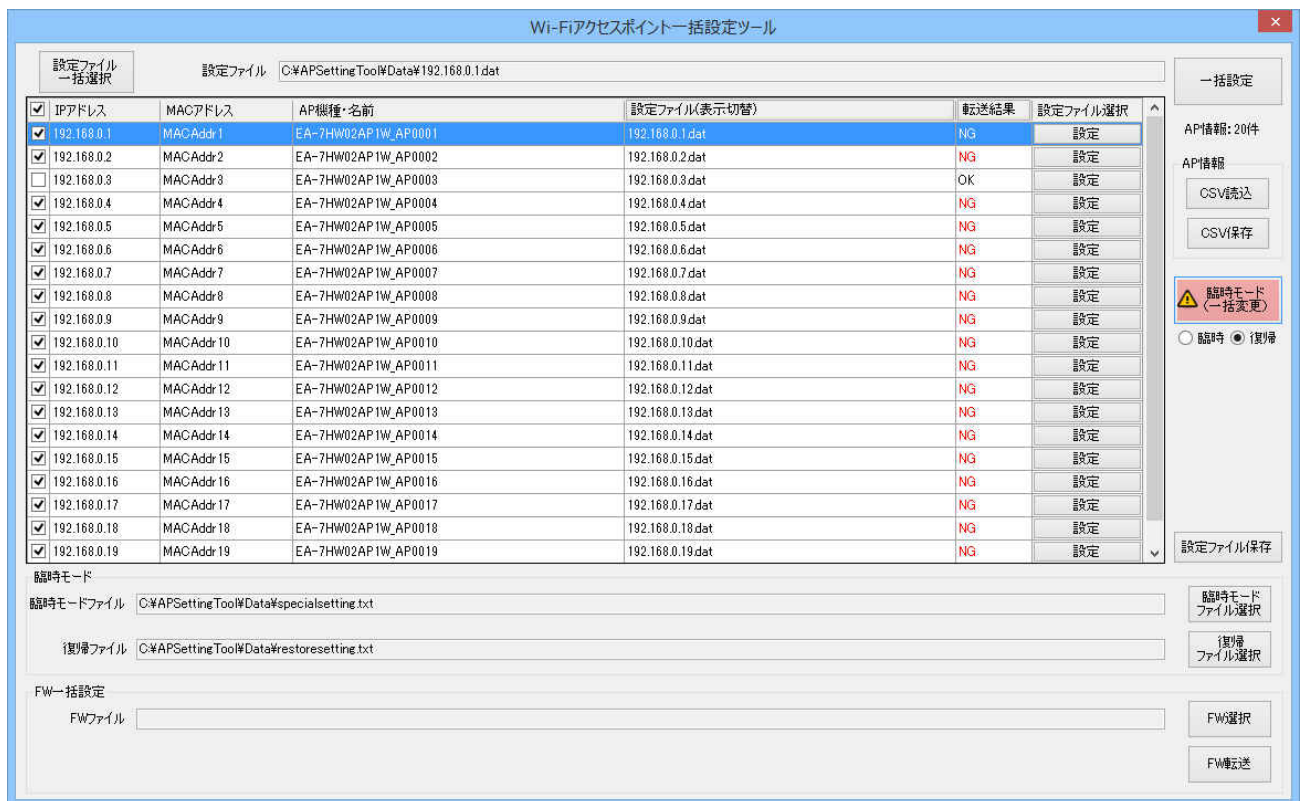


図6.1-10 臨時モード設定完了後の AP 情報一覧表表示画面 1

転送結果が「NG」の AP に対して再度、“ 臨時モードファイル ”を転送する場合、「臨時」ラジオボタンを選択し、「臨時モード（一括変更）」ボタンを押下します。

転送結果が全て「NG」の場合、「臨時モード（一括変更）」ボタンはそのまま、「臨時」ラジオボタンも選択のままとなります。この場合、「臨時モード（一括変更）」ボタン操作にて、“臨時モードファイル”が転送ファイルとして引き続き選択されていることとなります。

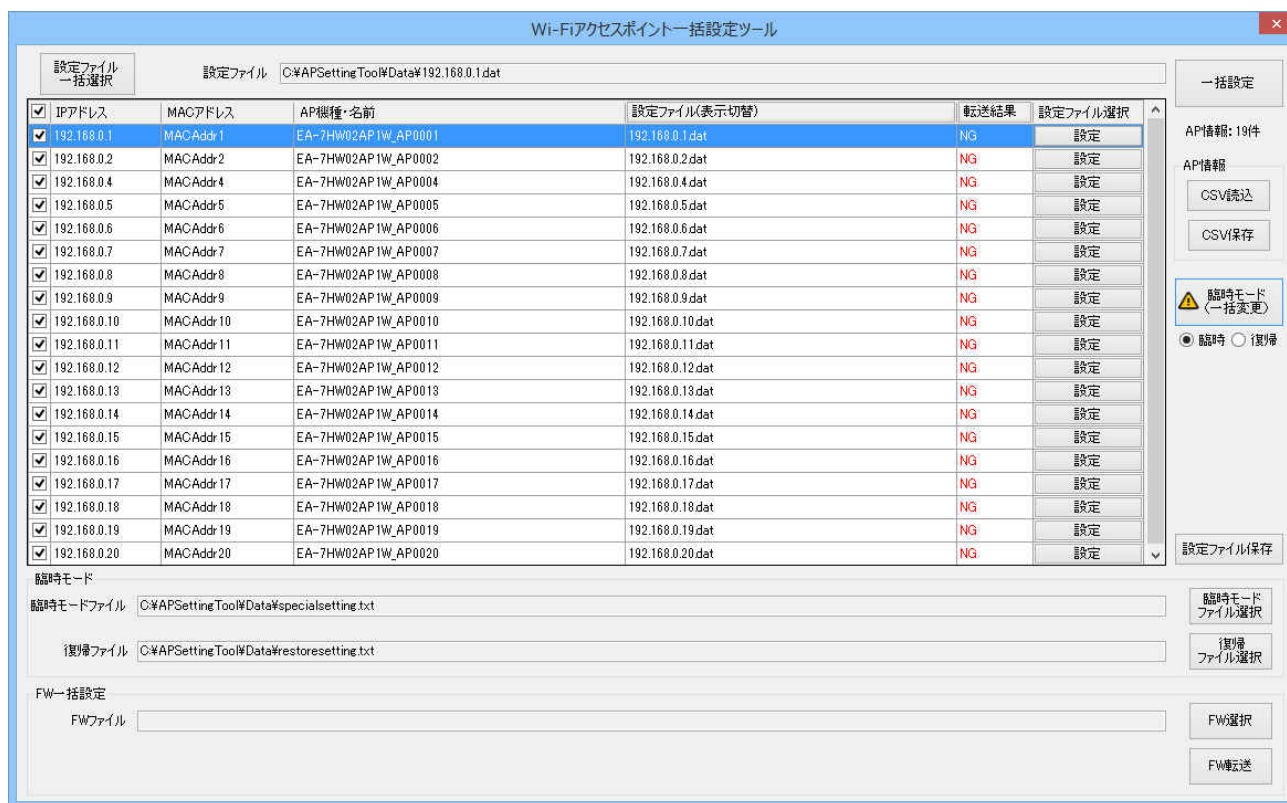


図6.1-11 臨時モード設定完了後の AP 情報一覧表表示画面 2

**重要**

転送完了後、AP 側で設定保存・適用に 3 分程度掛かります。その間 AP の電源は切らないでください。設定保存・適用中は、AP の操作はできません。

### 臨時モード（一括変更）（復帰）

一覧表で選択された AP に復帰ファイルを転送します。

「臨時モード（一括変更）」（赤色表示）ボタンクリックで、確認メッセージが表示されます。「はい」ボタンで、チェックした AP に復帰ファイルの転送を行います。

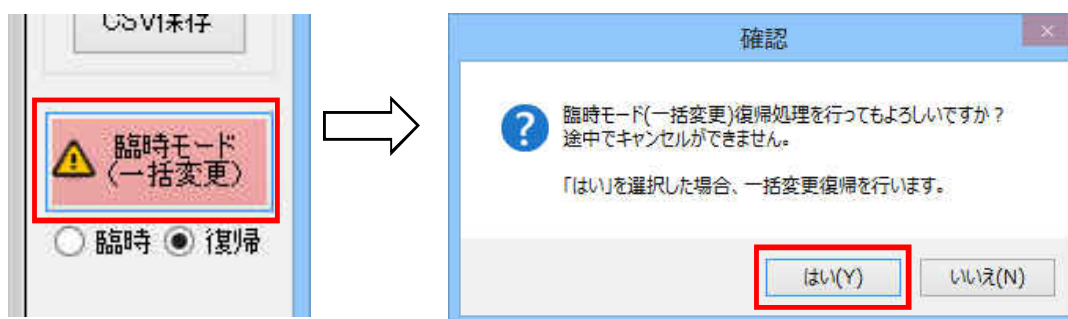


図6.1-12 復帰モード操作時の遷移画面

## 重要

一覧表に AP 情報が未表示 (AP 情報の CSV ファイル読みがされていない)、対象 AP が未選択 (一覧表の AP チェックボックスで 1 つも AP が選択されていない)、または復帰ファイルが選択されていない場合は、臨時モード (一括設定) (復帰) は行いません。



「設定ファイル転送中・・・」のプログレスバーが表示され、転送状況を表示します。

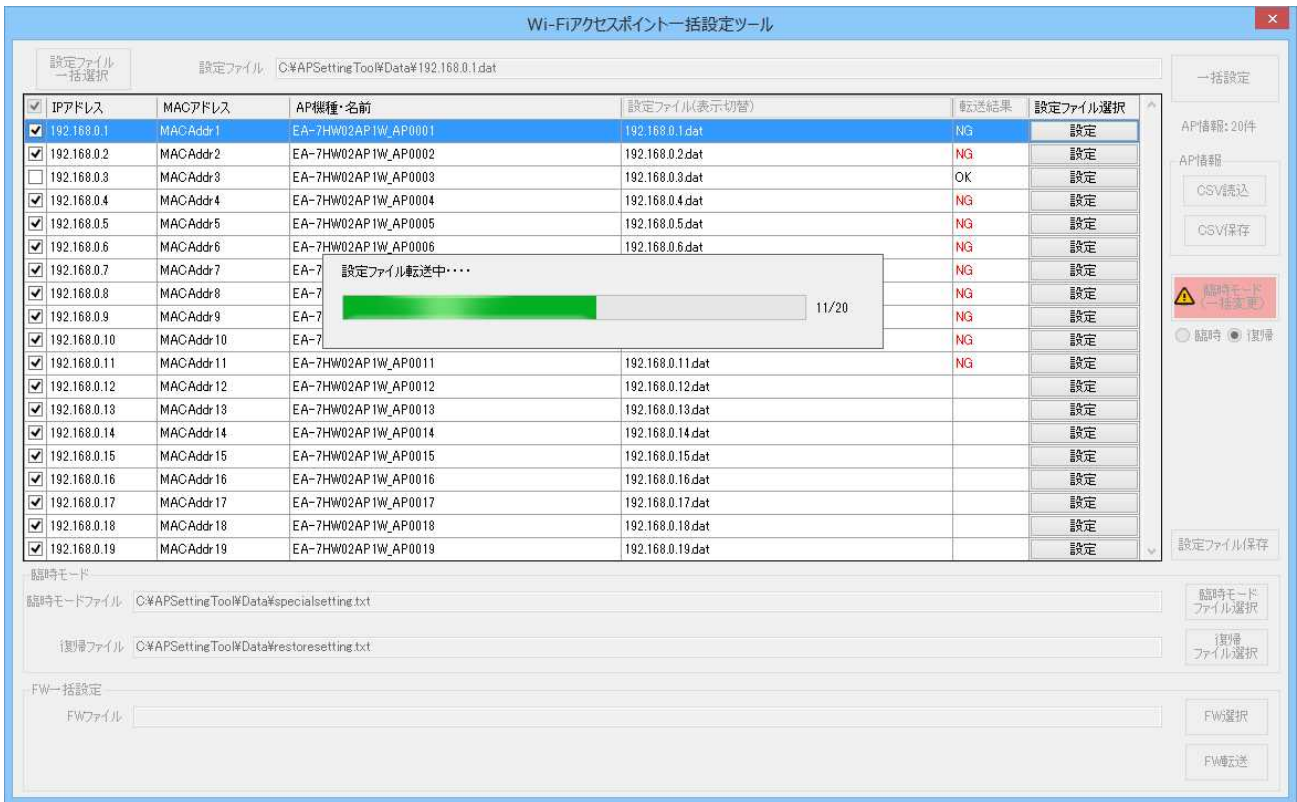
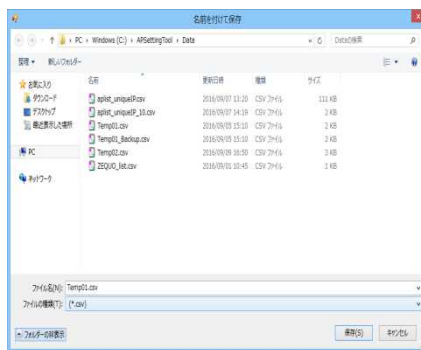


図6.1-13 復帰モード設定ファイル転送中画面

転送が完了したメッセージが表示されます。失敗がある場合、失敗件数が表示されます。

全て完了の場合の終了メッセージ



失敗があった場合の終了メッセージ

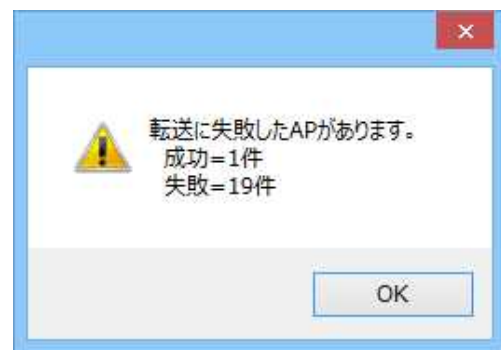


図6.1-14 メッセージ画面

一覧表に転送結果が表示されます。

正常に完了した場合は、転送結果に“ OK ”が表示され、チェックが外されます。失敗した場合は、転送結果に“ NG ”が表示され、チェックはそのままになります。

転送結果が「OK」が一つ以上あった場合、「臨時モード（一括変更）」ボタンが赤色でなくなり、「臨時」ラジオボタン選択となります。この場合、「臨時モード（一括変更）」ボタン操作にて、“臨時モードファイル”が転送ファイルとして選択されていることとなります。

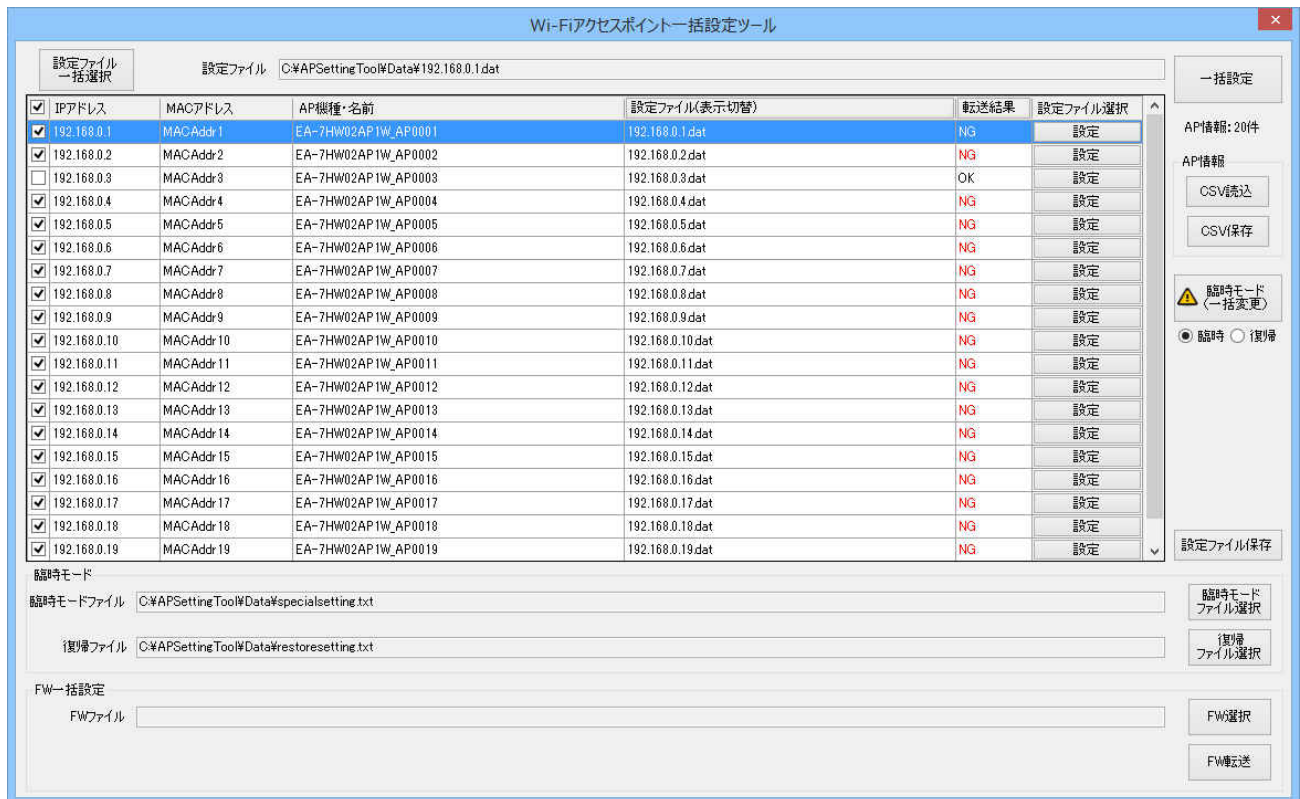


図6.1-15 復帰モード設定完了時の AP 情報一覧表示画面 1

転送結果が「NG」の AP に対して再度、復帰ファイルを転送する場合、「復帰」ラジオボタンを選択し、「臨時モード（一括変更）」ボタンを押下します。

転送結果が全て「NG」であれば、「臨時モード（一括変更）」ボタンは赤色のままであり、「復帰」ラジオボタン選択のままとなります。この場合、「臨時モード（一括変更）」ボタン操作にて、“復帰ファイル”が転送ファイルとして引き続き選択されていることとなります。

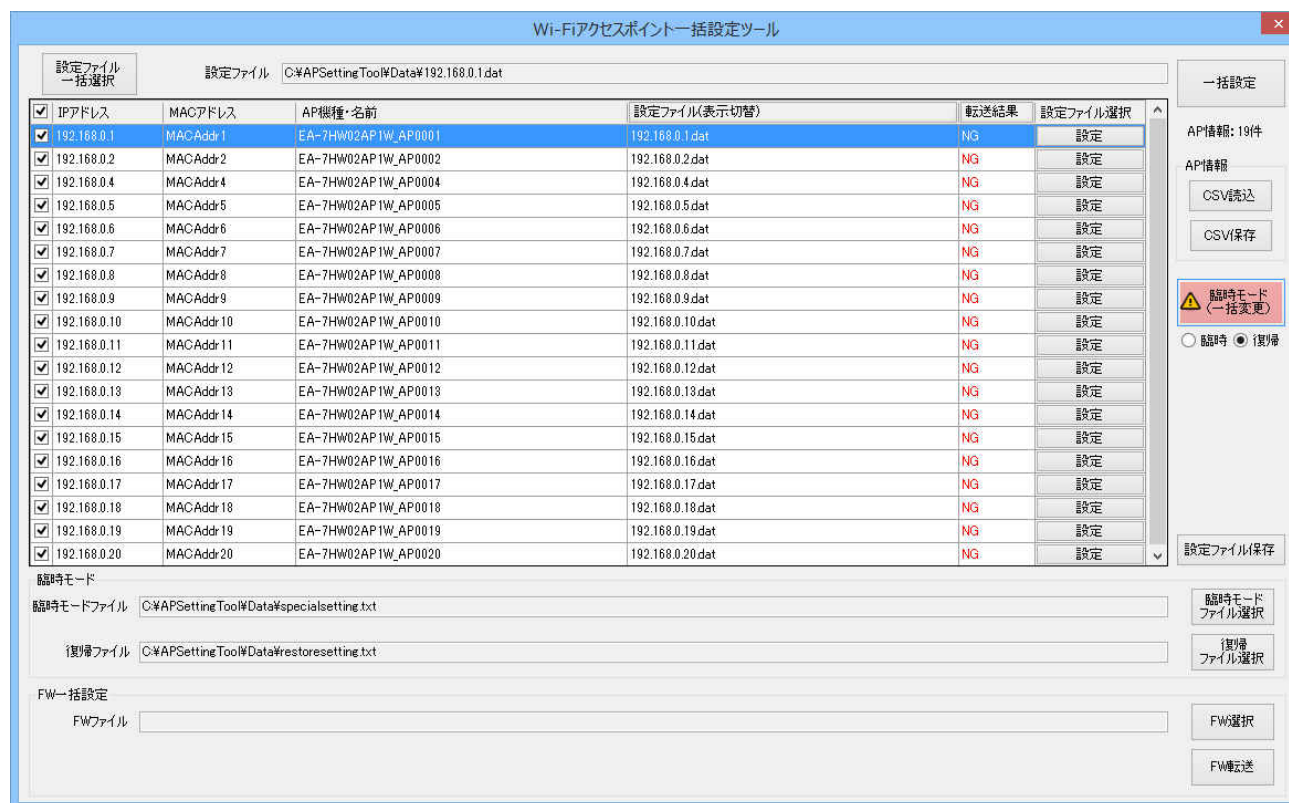


図6.1-16 復帰モード設定完了時の AP 情報一覧表示画面 2

**重要**

転送完了後、AP 側で設定保存・適用に 3 分程度掛かります。その間 AP の電源は切らないでください。設定保存・適用中は、AP の操作はできません。

## 6.2 FW一括設定

FW一括設定は、選択されたFWファイルを選択されたAPに転送します。

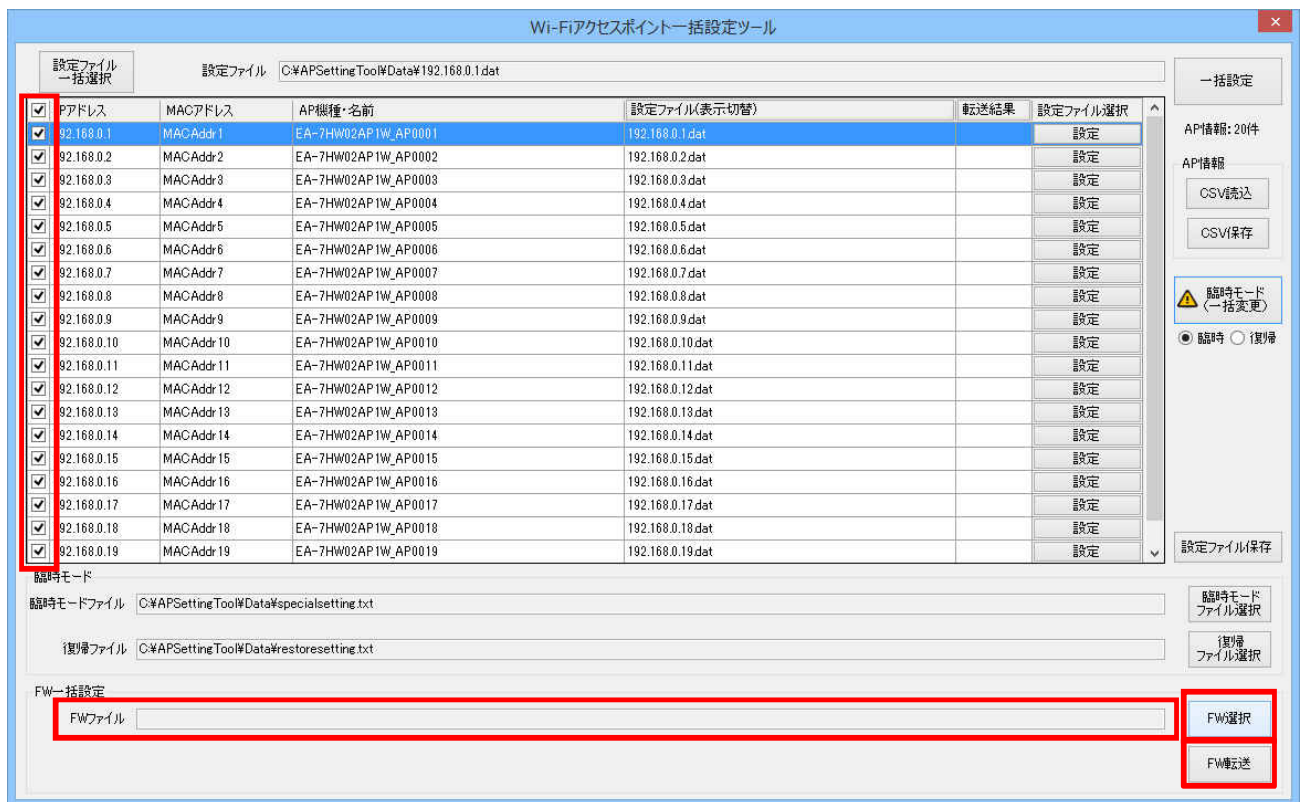


図6.2-1 AP情報一覧表示画面

## FW ファイル選択

FW 一括設定を行うファイルを選択します。

「FW 選択」ボタンをクリックし、ファイル選択ダイアログ表示、対象ファイルを選択します。

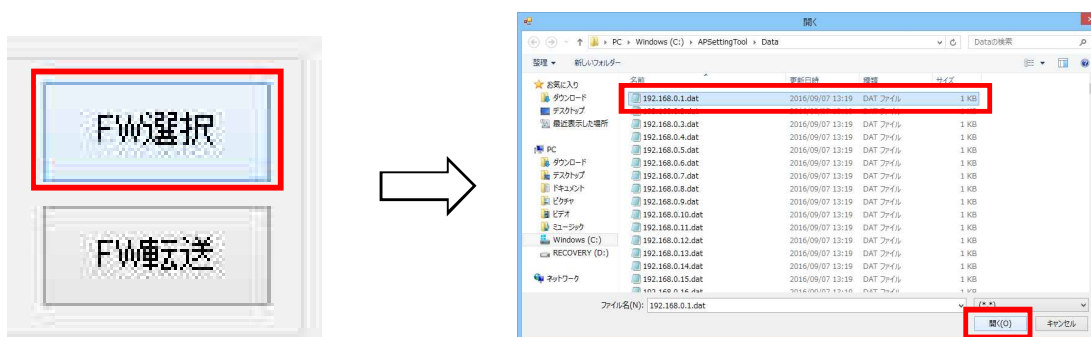


図6. 2 -2 FW 選択操作時の遷移画面

選択したファイルがFW ファイルに表示されることを確認します。

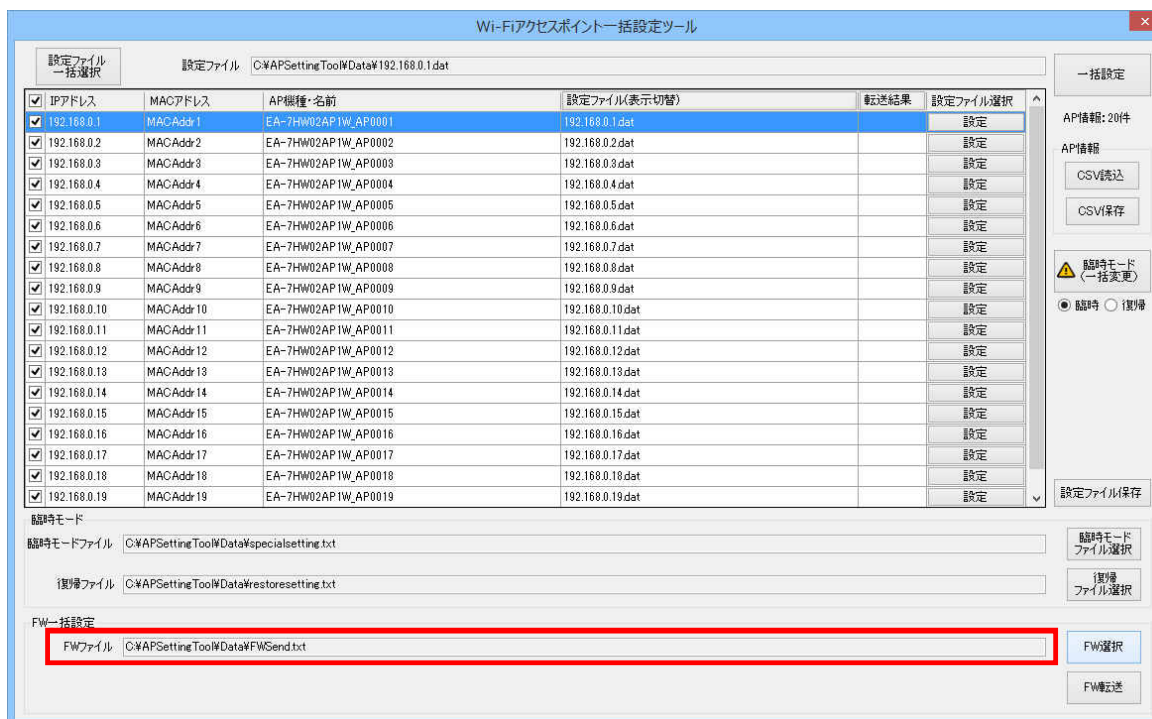


図6. 2 -3 FW ファイル選択後の画面

## FW ファイル転送

一覧表で選択された AP に FW ファイルを転送します。

「FW 転送」ボタンクリックで、確認メッセージが表示され、「はい」ボタンで、チェックした AP に FW ファイルを転送します。

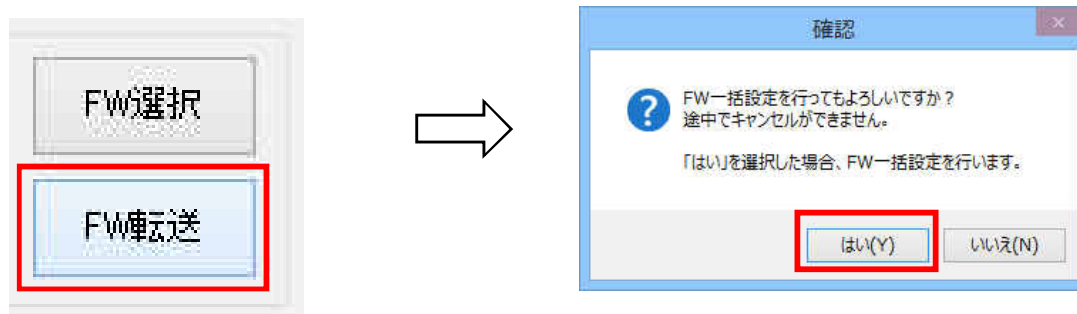


図6. 2 -4 FW 転送操作時の遷移画面

### 重要

一覧表に AP 情報が未表示 (AP 情報の CSV ファイル読み込がされていない)、対象 AP が未選択 (一覧表の AP チェックボックスで 1 つも AP が選択されていない)、または FW ファイルが選択されていない場合は、FW 転送は行いません。

「FW ファイル転送中・・・」のプログレスバーが表示され、転送状況を表示します。

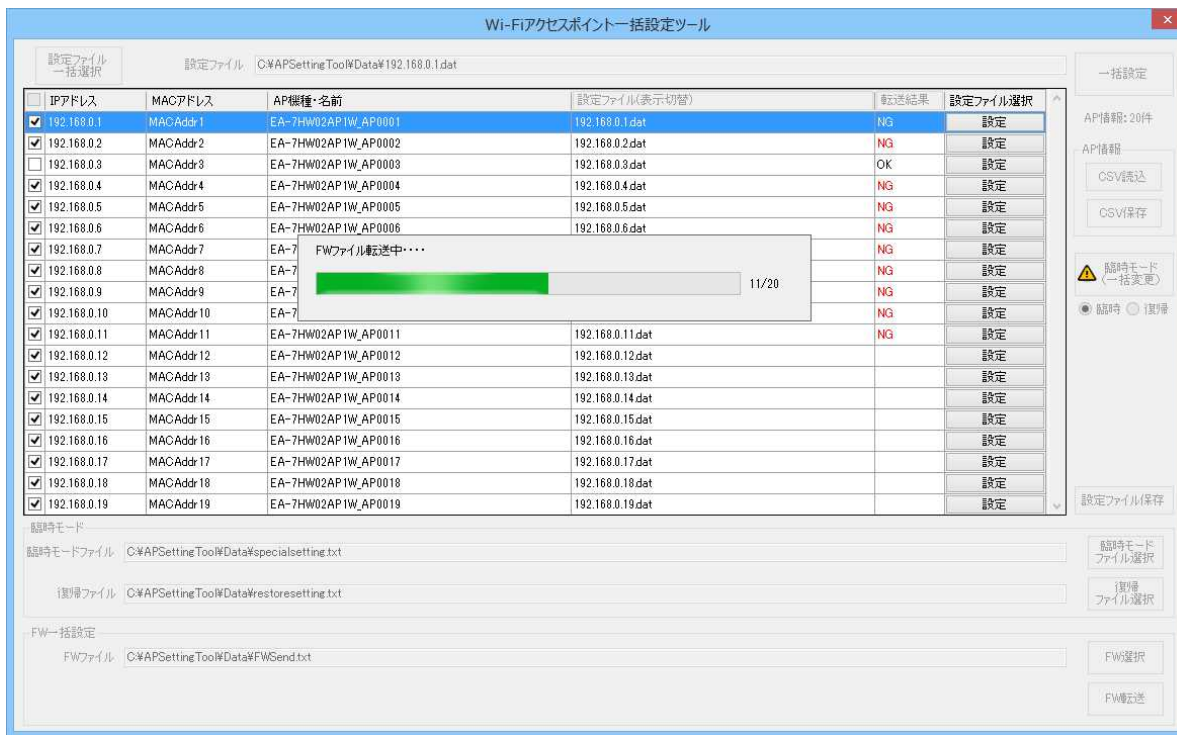
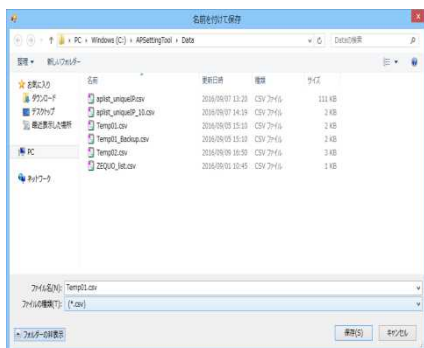


図6. 2 -5 FW ファイル転送中画面

転送が完了したメッセージが表示されます。失敗がある場合、失敗件数が表示されます。

全て完了の場合の終了メッセージ



失敗があった場合の終了メッセージ

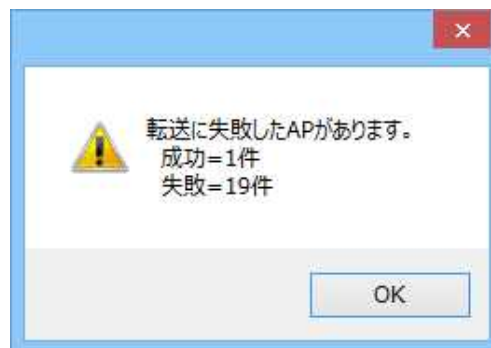


図6. 2 -6 メッセージ画面

一覧表に転送結果が表示されます。

正常に完了した場合は、転送結果に“ OK ”が表示され、チェックが外されます。失敗した場合は、転送結果に“ NG ”が表示され、チェックはそのままになります。

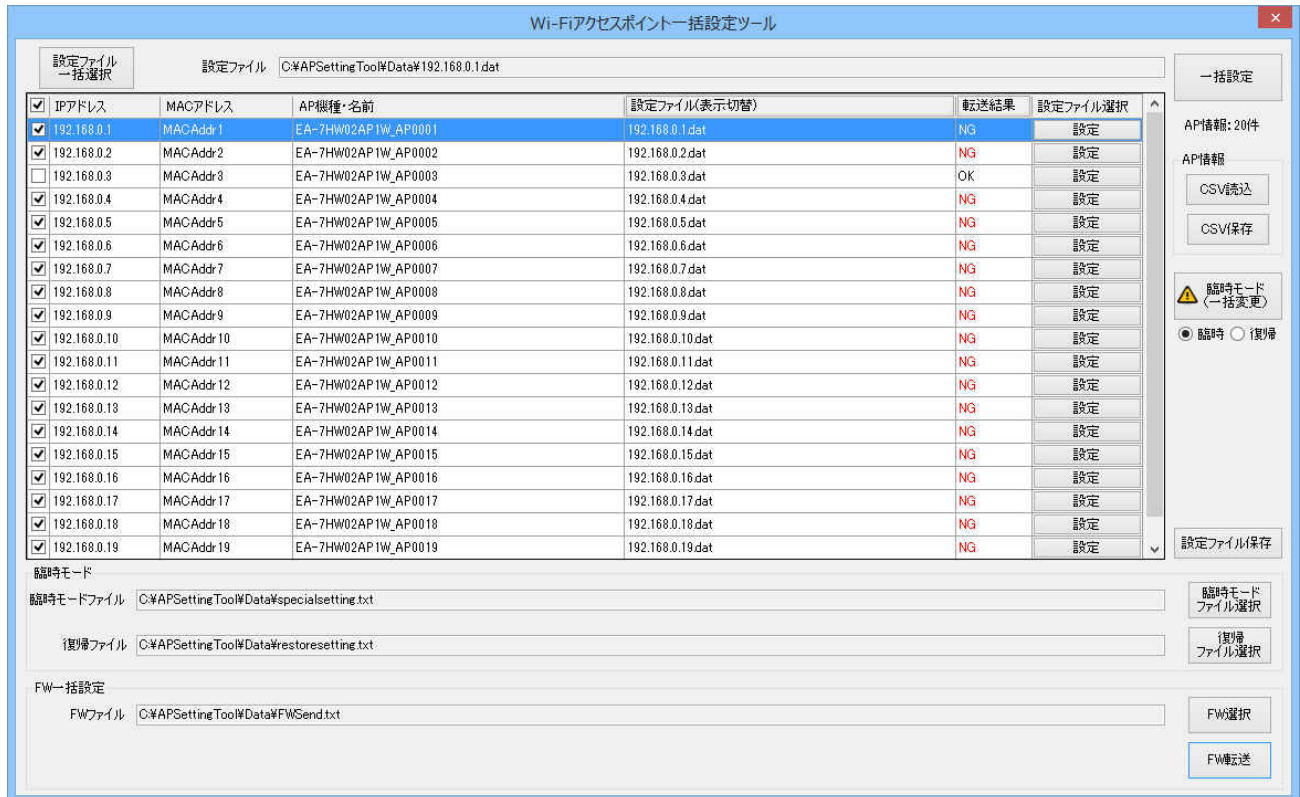


図6. 2 -7 FW ファイル転送帰モード完了時の AP 情報一覧表示画面

**重要**

転送完了後、AP 側で FW 書込保存完了 (ACT\_LED 赤点滅) まで 3 分程度掛かります。その間 AP の電源は切らないでください。書込保存完了後、AP を手動再起動 (reset) または電源再投入することで、実際に運用される FW が更新されます。



使い方・お手入れ・修理などは、まずお買い求め先へご相談ください。

その他ご不明な点は下記へご相談ください。

パナソニック システムお客様ご相談センター

電話 フリー  
ダイヤル  **0120-878-410** パナは ヨイワ 受付：9時～17時30分（土・日・祝祭日は受付のみ）  
※携帯電話・PHSからのご利用になれます。

ホームページからのお問い合わせは <https://sec.panasonic.biz/it/cs/cntctus/>

ご使用の回線（IP電話やひかり電話など）によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。  
本書の「保証とアフターサービス」もご覧ください。

### 【ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて】

パナソニック株式会社およびグループ関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただき、ご相談内容は録音させていただきます。また、折り返し電話をさせていただくときのために発信番号を通知いただいております。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

---

## パナソニック システムネットワークス株式会社

〒224-8539 神奈川県横浜市都筑区佐江戸町 600 番地

© Panasonic System Networks Co., Ltd. 2017